

自転車で公道を走る時は交通法規を守りましょう!



全日本選手権トラック女子ポイントレース優勝の梶原



第85回 全日本自転車競技選手権大会トラックレース	2
平成28年度事業計画	6
競技大会結果	10
NEWS	14
男子エリート・ロードレースランキング	15
連盟の動き	15
各大会日本代表選手団	16
第41回 チャレンジサイクルロードレース大会	17
日本新記録	19
今後の大会予定	19
第5回 全日本トライアル選手権大会	20
第39回 全国高等学校選抜自転車競技大会	21
全日本トライアルphoto	24



KEIRIN 

この広報誌は、競輪の補助金を受けて作成しました。
<http://ringring-keirin.jp>

無限の夢へ、走りだそう。  競輪の補助事業

RINGRING! プロジェクト

地方自治体が開催する競輪の売上金の一部は、モノづくり、スポーツ、地域社会への貢献など、さまざまな分野の事業に役立てられています。

くわしくはウェブで RINGRING! 



第 85 回 全日本自転車競技選手権大会トラックレース 2016 日本パラサイクリング選手権トラック大会

男子ケイリン決勝

第 85 回全日本選手権トラックレースと 2016 日本パラサイクリング選手権・トラックレースは、4 月 16 日～17 日の 2 日間にわたり、昨年と同じ伊豆ベロドロームで開催された。

【パラサイクリング】

「チャンピオンジャージをこの大会で着られるようになり、欲しくてたまらなかったこのジャージを、今回 2 枚獲得することができました。大勢の人たちに（レースを）見てもらうことが重要で、今回若手の川本君が（3kmIP で）3 分台を出して多くの拍手を頂けたということは、彼が東京（パラリンピック）へ向けて成長していく上で大切なことでしょう。」1kmTT(B・MC2-5)、4km 個人パーシュート (MC4-5) で 2 冠の石井雅史



石井雅史

「練習の成果を出せるように頑張ってきて、自己新記録で優勝できて嬉しいです。自分が記録を更新したら、また

他の選手がそれを更新する。皆でそういう戦いをして、もっと良いタイムを出したいです。」実測タイムで 4 分を切る日本新記録で、3km 個人パーシュート (MC2-3・WC) 優勝の川本翔太「タイム的には納得いきませんが、今までできなかったことがレース中にできるようになり、今後につながるレースができたと思っています（鹿沼由理恵・楽天ソシオビジネス）。リオでメダルを取るためには一つ一つの課題をクリアして、タイムをまだまだ縮めていかなければなりません（田中まい・JPCU 千葉）。世界は重いギアを踏んできているので、自分たちもパワーと持久力、そしてリオで勝てるようなメンタルをつけなければなりません（鹿沼）。」500mTT、3km 個人パーシュート (WB) で 2 冠の鹿沼、田中ペア



鹿沼、田中ペア

「（対戦）相手はいなかったのですが、自己新記録でこの（チャンピオン）ジャージを着られるのはとても嬉

しいです。0.1 秒足らずの更新ですが、日々前進して記録を更新し続ける自分との戦いを頑張ります。片脚でも走れるということ、あらゆるところに発信していきたいです。」日本記録更新で 500mTT (WC2) 優勝の藤井美穂



藤井美穂

【全日本トラック】

「大学を卒業してそれぞれの所属先と県に分かれてしまい、練習があまり出来ながらもチームワークで勝つことができました。他のチームも強くて内心は焦っていたのですが、最後まで活路を見出して諦めないで走った結果です（新村 稜）。今日のレースは優勝しか狙っていなかったのに、優勝できて嬉しいです。大学 4 年間で同期で



実業団ペア

過ぎ、全日本でも一昨年から組んでいるから経験の差が出たのかな(寺崎浩平)。」昨年までの法政大学から所属先は変わったが、男子マディソンで2年連続優勝の実業団ペア

「私は昨年からの2連覇ですが、1走の黒枝(咲哉)と3走の堀が頑張ってくれて全日本で勝てたというのは、本当に光栄なことで嬉しいです(野上竜太)。私は今年で3連覇ですが、毎年1走と2走が頑張ってくれたのを最後までつなげていただけです(堀航輝)。」男子チームスプリント3連覇の鹿屋体育大学



鹿屋体育大学

「やるぞっという気合で、気合だけで走りました(小坂知子)。小坂さんはスタートが良いので、離されないように頑張りました(中川諒子)。」女子チームスプリント優勝の岩井商会レーシング
「今大会では(1分)2秒台を目標にしていました。自己ベストで優勝できましたが、まずは早く3秒の壁を破りたいです。これから続く(学連の)大会で2秒台を狙っていききたいです。」1分3秒305の大会新記録で男子1kmTT優勝の小原佑太



小原佑太

「橋本英也選手と窪木一茂選手が出場しないということで、今大会は日本記録を更新してダントツに勝ちたいという気持ちを強く持って走りました。それがこの勝利につながったのだと思います。」男子個人パーシュート予選で4



近谷涼

分26秒116の日本新記録、決勝では追い抜き勝ちの近谷涼

「(昨年8月の)ジュニア世界選手権(PR)で優勝して、多くの人から声を掛けられることが少しプレッシャーになっていたのですが、それでも1試合ごとにしっかり集中して結果を残すことができました。8月のジュニア世界選手権は、自分にとって大きなきっかけになったのだと思います。」男子ポイントレース優勝の今村駿介



今村駿介

「昨年はあと一步のところまで(チャンピオン)ジャージを逃しましたが、今年はこのジャージを着ることができてとても嬉しいです。この1年で苦手だったスプリント力も強化できたので、ポイント周回を1回も逃すことのない作戦を立てて臨みました。」8回のポイント周回全てでポイントを獲得し、女子ポイントレース優勝の梶原悠未

「トラックレースでは完走すらできないことがほとんどで、優勝すること自体が初めてなのですが、今回はインターバル中心の練習に見直したことが結果につながりました。中盤、少ない人数(3人)でラップできたことが勝因です。」男子スクラッチ優勝の小林和希



小林和希

「エリートで優勝できてうれしいです。インカレもこの調子で頑張ります(坂本紘規)。1年生で先輩方と日本チャンピオンになれたことはとても光栄です(澤田桂太郎)。大会初日から調子が悪く、予選は佐々木(真也)先輩が走ったのですけれども、最後は気持ちで勝って嬉しいです(森口寛己)。昨年は思うような結果が残せなかったのですが、応援してくれた皆さんのおかげで優勝することができました(草場啓吾)。」4分13秒833の大会新記録で男子チームパーシュート優勝の日本大学



日本大学

「(今年1月の)アジア選手権でこのバンクでも、あれほどの(好)タイムが出るということをもろもろと見せつけられました。アジア選で勝利した選手が直後の世界選手権でも活躍しており、身近な彼女たちを目標にしていきたいです。ナショナルチームに所属して8年ほど経ちますが、自分の経験を次の世代に伝えていくのが今の自分の役割です。ガールズ(ケイリン)が創設されて、間口が広がり競技人口も増えていますが、小さいころから自転車を楽しんで、その楽しさを知っているような選手が出てきてくれることが一番嬉しいです。」女子ケイリン優勝、女子スプリント8連覇の前田佳代乃



前田佳代乃

「スプリントは今回(中川)誠一郎さんが欠場ということで、負けるわけにはいかないなと思っていました。決勝は和田(真久留)君の方が、予選タイムが良かったので警戒していたのです

が、自分の形に持ち込んでしっかり走れました。リオは代表リザーブということで悔しい思いもありますが、4年後(の東京)もありますのでオリンピックに出場できるようなコンディションに持っていきます。」男子ケイリンとスプリントで2冠の河端朋之



河端朋之(左)

大会2日前の4月14日の午後9時26分ごろに最大震度7の前震が発生した平成28年熊本地震は、大会当日16日の未明1時25分ごろにマグニチュード7.3の本震が発生。熊本県を中心に九州地方に大きな被害をもたらした。震源地から遠く離れた伊豆ベロドロームに直接的な被害はなく、大会は無事開催されたが、中川誠一郎(JPCU熊本)が帰郷を余儀なくされるなど、まったく影響を受けなかったわけではなかった。大会出場選手には熊本をはじめ九州出身の選手も多く、心中穏やかではなかったことは想像に難くない。

この震災でご逝去された方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々には1日も早く、平穏な日々が訪れるように願わずにいられない。「目標は45秒台だったのですが、40秒台という好記録が出せてとても満足しています(塚越さくら)。大学生と同じチームで走る機会はあまりないのですが、それを楽しみながらも好タイムを出して、最後は良い形で終わることができました(上野みなみ)。今回初めて団体追抜きを走って、先輩方皆さんのおかげで大会新記録を出すことができました(江藤里佳子)。憧れの先輩方と走りタイムも出せたので、と



CIEL BLEU KANOYA

ても良い経験になり大切な時間になりました(橋本優弥)。」鹿児島県鹿屋市を本拠地とするレーシングチーム、女子チームパーシュート優勝のCIEL BLEU KANOYA



塚越さくら

「500mTT優勝は嬉しいのですが、記録としては納得いきません。今回は以前よりもギアを重くしましたが、スタートの加速がうまく乗らなかったのが今後の課題です。3kmIPは久しぶりの自己記録更新で本当に嬉しいです。ペーシングの練習の成果で良いペースを刻めたので、それが今回の記録につながったと思います。九州で大きな災害がありました。自分も九州で活動している身として、今大会の3冠が少しでも良いニュースとして(九州に)流れれば良いなと思っています。」500mTT、3km個人パーシュート、チームパーシュートで3冠の塚越さくら

(村田 隆宣)

【競技結果】

第85回全日本自転車競技選手権大会トラックレース(2016/4/16-17 伊豆ベロドローム)

男子 スプリント

- 1 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山
- 2 和田真久留 JPCA JPCU 神奈川
- 3 雨谷 一樹 JPCA JPCU 栃木



男子 1km タイムトライアル

- 1 小原 佑太 青森 朝日大学 1:03.305
- 2 野上 竜太 岡山 鹿屋体大 1:03.607
- 3 寺崎 浩平 福井 バルバレーシング 1:03.708



男子 ケイリン

- 1 河端 朋之 JPCA JPCU 岡山
- 2 雨谷 一樹 JPCA JPCU 栃木
- 3 新田 祐大 JPCA JPCU 福島



男子 4km 個人パーシュート

- 1 近谷 涼 富山 マトリックスパークワグ 追抜勝
- 2 新村 穰 茨城 茨城 CS OVT
- 3 原田 裕成 岡山 愛三工業 4:33.859



男子 スクラフ (15km)

- 1 小林 和希 福岡 明治大学 18:11
- 2 佐々木真也 和歌山 日本大学
- 3 野本 空 愛媛 明治大学



男子 ポイントレース (30km)

- 1 今村 駿介 福岡 中央大学 17p
- 2 小林 泰正 群馬 日本体育大学 16p
- 3 渡邊翔太郎 岐阜 岐阜県 14p



男子 マドソン (25km)

- 1 実業団 新村・寺崎 13p
- 2 大分 一丸・黒枝 13p
- 3 群馬 小林・倉林 11p



男子チームスプリント

- 1 鹿屋体育大 黒枝・堀・野上 46.444
- 2 中央大学 佐伯・梶原・橋本^社 46.945
- 3 明治大学 板倉・小林・橋本^端 47.873



男子チームパシージュート

- 1 日本大 森口・坂本・草場・沢田 4:13.833
- 2 学 連 真砂・池邊・伊藤・廣瀬 4:15.200
- 3 法政大 荒井・青野・鈴木・渡部 4:19.636



女子スプリント

- 1 前田佳代乃 京都 京都車連
- 2 石井 貴子 JPCA JPCU 千葉
- 3 石井 寛子 JPCA JPCU 東京



女子500mタイムトライアル

- 1 塚越さくら 鹿児島 Ciel Bleu Kanoya 36.184
- 2 中川 諒子 JPCA 岩井商会 R. 37.022
- 3 大久保花梨 福岡 福岡車連 37.053



女子ケリソ

- 1 前田佳代乃 京都 京都車連
- 2 石井 貴子 JPCA JPCU 千葉
- 3 小林 優香 JPCA JPCA



女子3km個人パシージュート

- 1 塚越さくら 鹿児島 Ciel Bleu Kanoya 3:45.559
- 2 梶原 悠未 埼玉 筑波大 C 3:47.621
- 3 上野みなみ 鹿児島 Ciel Bleu Kanoya 3:47.932



女子ポイントレース(20km)

- 1 梶原 悠未 埼玉 筑波大 C 22p
- 2 上野みなみ 鹿児島 Ciel Bleu Kanoya 17p
- 3 鈴木 奈央 静岡 静岡車連 16p



女子チームスプリント

- 1 岩井商会 小坂・中川 36.536
- 2 鳥取 伊藤・菅原 38.928



女子チームパシージュート

- 1 CIEL BLEU KANOYA 江藤・塚越・上野・橋本 4:40.366



2016日本パラサイクリング選手権トラック大会
(2016/4/16 伊豆Vロードロム)

WC 500mタイムトライアル

- 1 藤井 美穂 東京 楽天ソフビヰズ 51.130 51.130



B 1kmタイムトライアル

- 1 鹿沼由理恵・田中 まい
WB 1:11.114 1:02.623
- 2 大城 竜之・照井 拓成
MB 1:07.163 1:07.163



MC2-5 1kmタイムトライアル

- 1 石井 雅史 東京 イーメディアント信濃山形
MC4 1:10.023 1:08.707
- 2 川本 翔大 広島 大和産業
MC2 1:19.122 1:10.862
- 3 相園健太郎 福岡 福岡大学
MC2 1:20.507 1:12.102



MC2-3-WC 3km個人パシージュート

- 1 川本 翔大 広島 大和産業
MC2 3:58.035 3:49.799
- 2 相園健太郎 福岡 福岡大学
MC2 4:19.699 4:10.713
- 3 小林 泰理 神奈川 厚木商業高校
MC2 4:30.305 4:20.952



WB 3km個人パシージュート

- 1 鹿沼由理恵・田中 まい
WB 3:37.855 3:37.855



MC4-5 4km個人パシージュート

- 1 石井 雅史 東京 イーメディアント信濃山形
MC4 5:00.498 4:54.849
- 2 阿部 学宏 静岡 鈴与
MC5 5:30.143 5:30.143
- 3 小池 岳太 東京 JTBコミュニケーションズ
MC5 5:53.027 5:53.027



平成28年度 事業計画

公益財団法人 日本自転車競技連盟

本連盟は、我が国における自転車競技界を統轄し、代表する団体として自転車競技の普及振興に向け、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的に各種事業を実施してきており、本連盟がその目的を達成するために、本連盟加盟団体をはじめとした関係機関・団体とのより一層の連携強化を図り、自転車競技を通じた社会貢献への実現に努力する。

また、競技力の向上並びに自転車競技の普及振興を図るとともに、本年ブラジル・リオデジャネイロ開催のオリンピック・パラリンピックを足掛かりに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、競技者層の拡充、特に女子競技者層並びにジュニア競技者層の拡充に努め、これに加えて、オリンピックロード種目、BMX種目の東京開催、トラック種目、マウンテンバイク種目の静岡・伊豆開催を視野に競技大会の実施体制の強化と観客数の増加も図る。併せて、本連盟の社会的存在意義を自覚し、自転車の安全マナーの啓発活動の実施や、アンチ・ドーピング活動の教育啓発にも積極的に協力していくこととし、指導現場における暴力行為やハラスメントについては自らを厳しく律していく努力を続けていくこととする。

I 事業計画概要

【総務委員会】

公益財団法人として、公益認定法において公益目的事業として掲げられている“スポーツを通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を醸成する”ことを踏まえ、引き続き、より一層の透明性の高い業務運営を行っていくこととする。

本連盟の財政状況については、諸経費の支出について引き続き緊縮を図り、他方、広く活動資金の援助を求めため、より一層の賛助金、寄附金を得ることについて努力するとともに、競技主管等の位置付けを明確にする等、収支の均衡を保つことを目指し自主財源の増額についてその方策を企図していく。

【広報委員会】

本年度は、4年に一度のオリンピック・パラリンピックの年であり、更に、2020年東京オリンピックの会場地決定を受けて、国民の関心も高まり、自転車競技の魅力を一般に広く周知するため、また登録人口の拡大を図るためにも各加盟団体および各専門委員会との連携のもと以下の諸事業を実施する。

1 ホームページでの情報発信

リオをはじめとし、大会結果速報等のタイムリーな情報発信に努めると共に、全日本の大会開催要項、競技結果、日本代表選手の活躍など広く情報発信に努めるものとする。更に、JCFが統轄する8種目については、全日本選手権を中心に動画制作を行うと共に、

ライブ発信については更に検討を進めることとする。また、各地域での競技大会等イベント状況についても広く情報を発信する。

2 広報誌「シクリズムエコー」の発行

自転車競技の魅力のアピールできるよう、競技をわかり易く解説できる誌面の充実を図る。また、イベント会場での配布、諸団体への配布を通じて広く自転車競技の啓発普及につなげる。

3 自転車競技の広報・報道対応

今年度は、特にオリンピック・パラリンピックの開催年となり、マスコミからも注目されることから、海外向けの発信も含め報道対応を充実させ、種目別小委員会および部会ならびに各団体とも連携し、情報を共有することで積極的な情報提供を行い、メディア露出機会の増大に努める。

また、昨年12月に東京オリンピックの会場地としてロードレースとBMXを東京都内で、またトラックレースとマウンテンバイクを静岡県伊豆市日本サイクルスポーツセンターで実施することが正式に決定し、自転車競技への注目が集まっている今、広く一般の方に向けて自転車競技をこれまでより認知をしていただけるよう、2020年に向けたPRを計画する。

【競技運営委員会】

1 競技・トレーニング環境整備への取り組み

2016年はブラジル・リオデジャネイロにおいてオリンピック・パラリンピックが開催される年である。2016年1月には、この大会への参加資格にも寄与する大会としてアジア選手権自転車競技大会(ロード・トラック・パラサイクリング)が8年ぶりに日本で実施された。大会そのものは大過なく終了し、選手諸君も最大限奮闘したが、アジアにおける諸外国のレベル向上も著しく、総体的・相対的に競技成績は従来に比して厳しいものと受け止める必要がある。

トラック競技に関しては、これまで日本でアジア選手権が開催された2004年(アジア選手権：四日市開催)にはアテネオリンピックでチームスプリント銀メダル、2008年(アジア選手権：奈良開催)には北京オリンピックでケイリン銅メダルを獲得した一方、日本国内で前年・当年にトラック国際大会を開催しなかった2012年のロンドン・オリンピックではメダルを獲得できなかった、ということは、偶然の要素があるとはいえず日本国内でアジアレベルの国際大会を引き受ける、というアジア諸国への貢献と日本選手団の活躍が全く無関係とはいえない可能性を示すものであろう。今回の日本でのアジア選手権開催が、日本選手団のリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックでの活躍に何らかの形で結びつくことを祈るところである。

競技成績の相対的低迷には、他国の競技

環境・トレーニング環境の整備スピードに対して、日本のそれが追いついていないのではないかと、という反省が必要である。今回のアジア選手権で活躍した香港は従来からの実力国ではあるが、2014年に香港市内にトラック競技場を整備してからその強さを更に増してきているように見受けられる。インドはこれまでアジア選手権で上位に入ることを見かけることはなかったが、2010年のコモン・ウェルス・ゲームに際して首都ニューデリーにトラック競技場を整備したことを機にトレーニング体制を整え、種目によっては日本選手を脅かす存在になってきている。ジュニア層・若手の選手が日常的に、すなわち平日に学校・職場からトレーニングに通える環境を整備した国・地域が成長してきている世界的趨勢がある。これに日本が対応していくには、どのような競技場・トレーニング拠点体制とするかを熟考していく必要がある。たとえば修善寺に加えて東京・大阪圏に競技・トレーニング拠点を整備し、本格的なトレーニング拠点を3箇所体制とするとともに、全国的に展開済みである屋外競技場を、国際的なレースに適した周長(250m)に順次改築していくような戦略立案が必要である。ドイツには40箇所以上のベロドロームがあり、屋外400m走路も多いものの、順次250mセメントトラックに改修していると言われており、こうした環境整備が幅広い選手層の基礎的な実力向上には寄与しているのではないかと考えられる。

また、2017年からUCIが導入予定のアーバン・チャンピオンシップスは、従来アウトドア型スポーツの象徴と思われてきたマウンテンバイク、BMX、トライアルが都市型スポーツへ方向性を転換していることが示唆されている。観客視点にたった競技の再構築が盛んになってきており、このような情勢分析とともに、日本におけるトレーニング型競技場施設のありかたに関する戦略立案を進める。

2 日本国内における国際大会の開催

日本国内における国際大会の開催は、大会結果に与えられるランキング・ポイントを通じたオリンピック・パラリンピックや世界選手権・ワールドカップ等のより上位の国際大会への参加資格獲得機会として重要であるだけでなく、近隣諸国への大会参加機会提供という日本のアジアにおける貢献、という意味でも重要である。

トラック・レースについては、アジア諸国が年間数次にわたる国際大会を実施する機運にあることに対応し、ひきつづきトラックジャパンカップなど、国際カレンダー登録大会の実施・公認を積極的に推進する。ロード・レースについては、UCIカレンダー登録大会を日本国内で積極的に開催し、

サイクルスポーツの日本における活性化を図るとともに、日本人選手の国際的な活躍の基礎を確保することにつとめる。特に、近年アジア諸国が実施してきている女子のUCIカレンダー登録レースが日本ではひとつも実施されていない状況に鑑み、女子レースの拡充を図る。

パラサイクリングについては、ひきつづきUCIポイント対象大会の開催に前向きに対応していく。

マウンテンバイクについては、日本国内で獲得可能なUCIポイントの拡大に向けて、UCI登録レース数の拡充を図る。

シクロクロス、BMX、インドア、トライアルについても、UCIカレンダー登録レースの開催を引き続き積極的に推進する。

3 全日本選手権大会の開催

3-1 オリンピック・パラリンピック実施5種目を含む、UCI管轄8部門での全日本選手権大会開催

国際自転車競技連合（UCI）の管轄する自転車競技8種目（ロード、トラック、シクロクロス、MTB、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリング）の全種目において全日本選手権大会を開催し、我が国における自転車競技の普及・振興を図る。これら全日本選手権大会は日本国内における最高位の大会として相応しい、国際規則に準拠した高度で円滑な大会運営と、高いコストパフォーマンスのバランスを追求しつつ、原則として国際大会への派遣代表選手選考の機会としての設定し、参加者のモチベーションを高く保つこととする。

オリンピック・パラリンピックの開催種目であるロード、トラック、MTB、BMX、パラサイクリングについては、2020年の大会開催へ向けた準備を意識しつつ取り組んで行く。

3-2 参加申込み資格の明確化と多様化

全日本選手権大会への参加申込み資格としては、すでに国際的に活躍してUCIランキングポイントを保持している者や前年度全日本選手権大会で一定の成績を収めている経験豊富な競技者を含めることと併せて、日本国内各地で行われる本連盟・加盟団体主催事業大会、ならびに他の主催者が主催者となり本連盟が主管もしくは公認する大会から広く上位者を選定する。これにより、地域的・階層的に幅広く門戸が開かれたハイレベルな選手層の参加に配慮するとともに、地域における大会開催意欲の喚起を図るものとする。

3-3 開催地公募制度の活用

大会の開催にあたっては開催地の協力が不可欠なことから、開催地公募制度を種目毎の特性に応じて活用し、人的・施設の・資金的側面等において手厚い協力が得られる地方との連携を図りつつ、活力ある大会運営を図る。

また、各地方における大規模大会の実施が、当該地域における継続的な大会開催のきっかけとなるよう、大会運営ノウハウの蓄積と伝授に留意する。

2017全日本選手権トラック大会については、伊豆ペロドローム以外での開催とし、公募を行う。

3-4 大会開催資金の獲得

大会開催資金の獲得にむけて、協賛企業の募集・マスメディアに対する働きかけ、開催地行政との調整、運営コストの見直しを多角的に進めることとする。

3-5 アンチ・ドーピング活動の徹底

ドーピング委員会と連携し、全日本選手権ならびにそれに準ずる全国大会でのアンチ・ドーピング活動を行う。

4 国民体育大会の女子種目導入への取り組み

本年度岩手国体からトラック女子種目（チームスプリント、ケイリン、スクラッチ、参加数各都道府県2名）が実施される。併せて、大会全体の簡素化・時程短縮を図るなど、簡素かつハイレベルな大会への進展を進める。今後は、より一層の女子登録競技者数の増大をはかりつつ、ロードレースなど女子種目の拡大を日本体育協会や開催地行政等、関係諸機関と連携を深めつつ進めていく。

5 日本国内における国内カレンダー大会の開催・登録

自転車競技の普及・発展には登録者数の増大が必須であり、登録者数の増大には、登録者が参加可能な大会数の増大が必須である。本連盟の主催大会実施数にはおのずと限界があり、本連盟登録者を対象とした大会数の大幅な増大には、各地域における主催者との連携し、本連盟が競技面に適切に関与し、状況に応じて大会の主管・後援等を行うことにより多数の大会を実現していく必要がある。後援等に関する基準を再整備するとともに、積極的に運用していくこととする。

6 審判・スタッフ等の研修・資格制度の充実

自転車競技の普及発展には、安全で円滑に運営される大会数の充実が必要であり、それを担う高度な技量と経験を有する審判の育成が必須であり、引き続き公認審判員の育成に力を注ぐ。公認審判員は、大会運営の質の確保にあたり必須の資源であり、本連盟の事業的発展には公認審判員の人的資源の発展が必須であって、公認3級審判員、2級審判員講習会の実施主体たる加盟団体の継続的協力を引き続き強く要請する。また、将来的に国際コミッセルとして執務可能な人材の育成にも長期的視点で取り組み、1級審判員講習会の講義内容・試験の質的向上を図る。とりわけ2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時に、開催国が選出・提供すべきナショナル・コミッセルの数と質を確保するため、本年度は対象5種目の2級審判員数の増大に努力する。

また、国際コミッセル候補者の育成に向けた、エリートナショナルコミッセルコースを本年度に開催する。

講習会カリキュラムについては、平成24年度にそのガイドラインを定めたところであるが、講習会用ツールの開発・改善を進めて、

講習会の質的向上をはかりつつ、開催時の負担軽減によって講習機会の増大も図る。

7 コーチ・スタッフ等の研修・資格制度の充実

大会運営のレベル向上には選手・審判のみならず参加するチーム・スタッフの基礎的知識・技能の向上も必須である。

東京開催国民体育大会（2013）から、都道府県チームの監督は日本体育協会のコーチ、上級コーチ、もしくは指導員の有資格者であることが義務づけられたところであるが、引き続き日本体育協会コーチ資格講習会を本連盟主催により積極的に実施していく。指導員資格講習会についても、各都道府県連盟においてを実施いただいたところである。また、受講済みの人材が講師として活躍できる場の確保にも留意する。

大会に参加するものは遍くライセンス保持者であることが求められるものの、コーチ・監督以外のチームスタッフ向けライセンスは発給されてこなかったが、チーム・サポート・スタッフとして求められる最低限の競技規則に関する知識と、スタッフとしての心構えを備えた「チーム・アテンダント」ライセンス制度がすでに始まっている。諸外国においても、たとえばロードレースにおける車両運転者のライセンス保持確認の徹底など、選手以外のライセンス保持に関する規程と運用は厳格化の方向にあり、当連盟としてもコーチライセンス、チームアテンダントライセンス保持者の増大に向けて、講習会の活性化を図る。将来的には大会参加に際して、メカニック等のスタッフを含めてすべてのチーム関係者は、いずれかのライセンス保持を必須とする方針であり、各加盟団体に周知徹底を図っていく。

また、長期にわたって実施されていない日本体育協会上級コーチ資格講習会を、本年度は実施予定である。

8 競技者ライセンス制度の充実

我国における自転車競技の普及発展に必要な登録競技者数の増大と、登録者向け大会数の増大に向けて、すでに制度化されているビギナー向け大会における臨時登録制度の活用とともに、ビギナー・若年層が登録しやすい仕組の拡充を図る。

2013年度から実施された通年登録者（プロフェッショナル競技者を除く）に対する賠償責任保険の自動付帯は、概ね肯定的な評価を受け、登録料の値上げを伴ったものの、微増ながら登録競技者の増加に寄与した。万が一の事故時対策が強化されたことの周知徹底をはかり、登録競技者数の増大に寄与することが期待される。もちろん、大会中・練習中を含めて事前の事故防止対策が重要である。今後引き続き、傷害保険のオプション付与やツアー関連のメリット付与等、ライセンス保持者へのサービスレベル向上の検討を進める。平成29年度ライセンスからの傷害保険オプション制度のスタートを目標として、インターネットから申込み者が直接入力可能な登録システムの準備を行う。

9 ランキング制度の運用

運用を休止していたロードレース・ランキングについて、2014年度後半より対象大会の見直しを行った上で再開したところである。また、ロードレース・チームランキングについても運用を開始した。引き続きUCIランキングとの整合性が高く、日本各地での大会開催機運の醸成に寄与し、選手選考等の有効なツールとして位置づけしていく。

10 チーム登録制度の運用

現在運用を休止しているチーム登録制度について、すでに実態として運用されている全国団体を中心として運用を開始する。

11 審判器材

競技運営に用いる審判器材について、記録の信頼性を確保するため、一定の基準を設けることを検討する。

12 パブリシティへの対応

競技大会運営にあたっては、安全・公平・公正なる運営を旨としつつも参加者・観客視点を尊重し、より多くの人々から共感を得て我国における自転車競技の普及発展に寄与することを目指すとともに、新たな競技者の登録へのきっかけづくり、メディアへの露出度向上を通じた各方面からの支援・協賛の増大に配慮する。

とりわけ、本連盟が主催する全日本選手権大会については、動画を含めた映像の配信とアーカイブとしての記録の拡充を図る。また、日本国内で行われる国際大会についても、メディア露出機会増大に努める。

13 東日本大震災復興支援への取り組み

本連盟として復興支援に寄与可能なことは何があるか、という問いは永遠に続くが、被災地・周辺における大会の開催、は比較的容易な回答のひとつである。大会開催は、場合によっては開催地に負担をかける危惧もあるが、参加者・大会運営関係者・観客・メディア関係者など多くの人々が訪問することは、震災に対する認識を新たにすることを提供するのではないかと。

また、被災した山形県・新庄市サイクルスポーツセンターのトラック改修についても、積極的に働きかけていく。

14 小委員会、部会制度の活性化

種目別小委員会活動の活性化を図り、UCI管轄8部門すべてに亘る自転車競技の振興を推し進める。コミッセル部会活動の活性化により、大会競技運営の質的向上と、コミッセルの将来的な人材育成を図る。必要に応じて、小委員会構成の再構成を行う。

【選手強化委員会】

オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとする国際大会におけるトップアスリートの活躍は、国民に夢や感動を与え、明るく活力ある社会の形成に寄与することから、本年度においては世界で通用する競技者を計画的に育成・強化し、2016年リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け継続的なメダル獲得を目的として事業を実施する。

特に、本年度は以下の項目を重点施策として実施する。

- (1) 世界強豪選手と対等に戦えるパワー強化。
 - (2) ジュニア世代からの一貫した強化プログラム作成及び指導者養成。
 - (3) 競技力向上に関わる医科学的サポートの充実。
 - (4) 将来的にメダル候補が期待できる女子選手の強化。
 - (5) 才能を発掘するための発掘事業の実施。
- トラック競技においては、優秀な選手を育成・強化することを目的として、2016年リオデジャネイロオリンピック代表選手強化と並行して、2020年東京オリンピックを目標とする選手強化に努める。

また、強化指定選手の再編成以降はJCF加盟団体（都道府県車連・高体連・学連・実車連・プロ協会等）から推薦された者、並びにタレント発掘事業で優秀と認められた者をトレーニングキャンプにテスト生として受け入れ、選手発掘に努めている。

UCI公認国際大会へ積極的に日本代表選手団を派遣し、ワールドカップ、世界選手権大会等全種目での参加枠獲得に努め、さらに2016年リオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピック競技大会出場枠獲得に努める。

ロード競技については、ヨーロッパに活動拠点を構築したことにより、より多くのレース経験を重ねることにより、国際競技力の向上を図る。

また、本年日本人選手だけの国際自転車競技連合（UCI）登録プロフェッショナル・コンチネンタルチームが創設される予定であり、本連盟としても選手の競技力向上並びに2020年東京オリンピックでのメダル獲得を目指し、同チーム創設に向け協力する。さらに、海外チーム所属強化指定選手並びに国内強化指定選手との連絡を密にして体調把握し、世界選手権大会でのメダル獲得に努め、2016年リオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピック競技大会の女子の出場枠獲得にさらに努める。

その他国際大会においては、U23の選手を中心としてナショナルチームを編成し、国際大会へ積極的に派遣し選手強化・育成に努める。

マウンテンバイクについては、海外チーム所属強化指定選手によるUCI公認国際大会での国際ポイント獲得および支援に努め、さらに2016年リオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピック競技大会出場枠獲得に努める。

国内強化指定選手における（ユース、ジュニア、U23）若年層からの強化・育成に努める。BMXについては、UCI公認国際大会派遣により世界選手権の参加枠獲得に努め、さらに2016年リオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピック競技大会出場枠獲得に努める。

また、ユース層の強化育成選手を中心に、日本サイクルスポーツセンターを合宿拠点として活用し、世界選手権大会等での上位入

賞に努める。

ジュニア競技者の強化については、国際大会への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、強化・育成に努める。

また、各種目ヘッドコーチをジュニア競技者強化合宿へ積極的に派遣し、一貫した選手の強化・育成に努める。

女子競技者の強化については、本年度も国際大会への選手派遣並びに強化合宿を積極的に行い、強化・育成に努める。

また、女子競技者においては他種競技団体との連携を密にし、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた選手の発掘に努める。

選手発掘事業については、日本スポーツ振興センター主催のタレント発掘・育成（NTID）合同トライアル、並びにガールズサマーキャンプを通じて選手発掘に努める。

- ① 世界選手権自転車競技大会選手派遣（トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車競技、シクロクロス、トライアル、Jrトラック）
- ② ワールドカップ大会選手派遣
- ③ アジア自転車競技選手権大会選手派遣（トラック、ロード、マウンテンバイク）
- ④ UCIトラックカレンダーレースへの派遣
- ⑤ 国際会議への派遣

【アンチ・ドーピング委員会】

海外におけるドーピング違反報道は、まるで自転車競技といえばドーピングというイメージをさせるほどスポーツ界のみならず、一般社会全体にマイナスイメージを与える影響が大きい。このことは本連盟にとっても非常に重要な意味を持つものであり、真摯に受け止め、ドーピング防止策を速やかに進めていかなければならない。

具体的には、ドーピング防止ならびに抑止力の核をなす二本の柱、すなわち「ドーピングコントロール（検査）」、ならびに「アンチ・ドーピング教育」を活動の軸にすえて事業の実施を行う。

1 ドーピングコントロール（検査）検査の実施と検査体制の充実

(1) 検査実施予定対象大会

全日本大会、国際大会の検査対象大会において実施予定。

(2) 競技会検査への協力

国内で開催される全日本選手権（ロード、トラック、シクロクロス、マウンテンバイク、BMX、インドア、トライアル、パラサイクリング）大会、国際大会において検査を実施する。検査の実施に当たっては、検査の国内統括機関であるJADA（日本アンチ・ドーピング機構）主幹の下、JADA派遣DCO（ドーピング・コントロール・オフィサー）が検査を行い、本連盟NF-Rep（国内連盟代表者）が円滑に検査を行えるよう支援し、また検査を受けるにあたり、本連盟所属選手が被害をこうむることなく、検査の公平性、客観性を保つことに努める。

(3)シャペロンの増員、継続性

WADA 規程、UCI 規則定両面から競技会検査におけるシャペロン（検査補助）の役割が重要になってきている。具体的には、対象選手をよりきめ細かく監視ならびに検査室に誘導するためには人数の増員が不可欠であり、それらを実践させる為にも現在のシャペロン人数増員の必要性について、各大会主催者側へ協力を依頼する。さらにはそれらのシャペロンに多くの競技会検査業務を経験させ、継続して従事できるように養成していくことも重要である。

2 アンチ・ドーピング教育啓発活動の充実

教育啓発活動の充実を図るには、講習会の開催が必要であるが、アンチ・ドーピング委員会単独で開催するには受講者への広報が現実的には難しく審判講習会、他各加盟団体事業と広く協力し、同会場、同日程で開催するなどの工夫が必要である。また、開催される講習会にはアンチ・ドーピング委員会委員を始めとし、積極的に講師の派遣を計りたい。現在、すでに JCF ホームページによる UCI 規則の改訂、禁止表国際基準の変更、スポーツファーマシスト検索、TUE 申請等に関する問い合わせ、広報を行っているが、これをさらに充実させ選手・監督からの要請に応えたい。具体的には WADA 規程、UCI の競技規則改定があった際、選手・監督がより理解しやすいように変更点を抽出するなどして掲載する。

3 RTPA 対象者への喚起

次に、本連盟所属の※RTPA (Registered Testing Pool Athletes) に現在 10 数名が登録されている。居場所情報登録提出、問い合わせがあれば質問に応え、本連盟アンチ・ドーピング委員会の責任として事務局を通して行う。

また、分析を行っている使用薬物リストの分析を本年度も引き続き行い、分析結果をアンチ・ドーピング啓発活動に供したい。

※RTPA とは、JADA または国際競技団体 (IF) の検査対象者登録リストへ登録されたトップクラスのアスリートのこと。

RTPA になると、事前通告なしの競技会外検査をより効果的に受け自らがクリーンであることを証明するために、インターネット上のドーピング防止管理運営システム (ADAMS) を通じて四半期ごとに 3 ヶ月分の居場所情報を提出する必要がある。

居場所情報は、居住地・宿泊地・トレーニング場所や競技会などの情報を、例えば部屋番号まで詳細に提出しなければならず、さらに、必ず検査に対応できる時間と場所を指定する「60 分の時間枠」を指定することも義務付けられている。60 分枠で指定した時間と場所にいなかった場合（検査未了）、または居場所情報が期限までに提出されなかったり、アップデートされてない（居場所情報未提出）ことが 12 ヶ月間で合計 3 回になると、「ドーピング防止規則違反」となり、4 年間の資格停止になる可能性がある。

【国際推進部会】

本連盟によるチーム派遣のみならず個々のチーム、競技者、審判員らによる多様な国外競技活動や、国内での国際大会開催、国際化を視野に入れたチーム等の体制の整備など、多年に亘り国際的活動は増加し続けている。

この状況下に、わが国と世界、特にアジア圏の自転車競技の健全な継続的発展に資するために、国内、国外から評価される高いブランド力が求められる。

そのために国際的競技大会の質を高め、さらに国内大会に反映させるためにも、国際的な情報の収集、共有、発信とともに優れた制度の導入も含めた実践も重要である。これらのことを踏まえて、国際推進部会は、本連盟諸事業の場において、人材の発掘・養成・登用、資料・文書の 2 ヶ国語（日本語・英語）化、国内外の情報の収集、対外（国内外）的な情報の蓄積及び公開、そしてこれらのための事務局内での情報の共有化及び国際化に必要な事項の実践のための施策を推進する。

そして、これらの円滑な推進のため、関係者/関係団体/関係国との良好で緊密な協力関係を醸成すべく活動する。

実施事業については以下のとおりである。

II 実施事業**1 国内競技大会関係事業****①全日本自転車競技選手権大会**

（ロード、個人ロードタイムトライアル、トラック、オムニウム、マスターズ・トラック、室内自転車競技、マウンテンバイク、シクロクロス、BMX、トライアル、パラサイクリング）

②その他国内大会

（全国都道府県対抗、JOC ジュニアオリンピックカップ、全国ジュニア・ロード、日本スポーツマスターズ、チャレンジサイクルロードレース 国民体育大会自転車競技会）

2 国内での国際競技大会**①ツアー・オブ・ジャパン****②ツール・ド・おきなわ****③ツール・ド・北海道****④TOUR de 熊野****⑤ジャパンカップサイクルロードレース****⑥ニセコクラシック (UWCT)****⑦ジャパントラックカップ****⑧JICF インターナショナルトラックカップ****⑨日韓対抗学生自転車競技大会****⑩東北 CX プロジェクト猪苗代ラウンド****⑪関西シクロクロス・マキノラウンド****⑫信州シクロクロス・野辺山高原ラウンド****⑬八幡浜インターナショナルクロスカントリー****⑭やまぐち十種ヶ峰 国際ダウンヒル****⑮ひたちなか BMX 国際****⑯UCI サイクルサッカー・ワールドカップ大阪大会****3 国際競技大会関係主要事業**

①リオオリンピック自転車競技選手派遣、リオパラリンピック

②世界選手権自転車競技大会選手派遣（トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内自転車競技、シクロクロス、トラ

イアル、Jrトラック、パラサイクリング）

③トラックワールドカップ大会選手派遣

④アジア自転車競技選手権大会選手派遣（トラック、ロード、マウンテンバイク、BMX、室内、パラサイクリング）

⑤UCI トラックカレンダーレースへの派遣

⑥国際会議への派遣

4 加盟団体関係主要事業**(1)都道府県連盟関連事業**

①全国地域別道路競走大会（8 地域）

②全国地域別トラックレース大会（8 地域）

③全国都道府県別自転車競技選手権大会（47 都道府県）

(2)日本プロフェッショナルサイクリスト協会関連事業

①全日本プロフェッショナル自転車競技選手権大会

②プロサイクリスト選手強化

③プロサイクリスト国際競技大会

(3)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部関連事業

①全国高等学校選抜自転車競技大会（トラック、ロード）

②全国高等学校自転車競技全国合宿（ブロック・全国）

③チョンジュ MBC 国際ロードレース派遣

④全国高等学校総合体育大会

(4)日本学生自転車競技連盟関連事業

①全日本学生選手権自転車競技大会（トラック、ロード、チームロード）

②全日本大学対抗選手権自転車競技大会 他

(5)全日本実業団自転車競技連盟関連事業

①JBCF 経済産業大臣旗ロードチャンピオンシップ

②JBCF 全日本トラックチャンピオンシップ

③東西地域別実業団（トラック、ロード）

④JBCF 石川サイクルロードレース

5 アンチ・ドーピングの推進事業

アンチ・ドーピング委員会が主体となり、他の委員会と連携し、「競技会検査」、「アンチ・ドーピング講習会、アウトリーチプログラム、アンチ・ドーピング活動における教育啓発を行う。

6 強化事業

(1)強化合宿

(2)国内屋内型競走路合宿

(3)コーチ・スタッフの整備等

(4)競技用機材等整備

7 普及事業

(1)全国自転車競技指導担当者研修会・審判講習会

(2)自転車競技の普及・広報

(3)広報誌発行事業

(4)未登録者推進に係るシステム改修

(5)広報（宣伝、現地報道対応）

(6)アンチ・ドーピング活動

競技大会結果

大会名、チーム名等については略して記載

第十回明治神宮外苑大学クワリム (2016/3/13 東京・明治神宮外苑)

男子グループ1 (30km)

1	岡本 隼	日本大学	43:05
2	Sjors Handgraaf	University of Amsterdam	43:05
3	森口 寛己	日本大学	43:05
4	渡邊 雄太	駒澤大学	43:05
5	塩田 航平	早稲田大学	43:15
6	小林 泰正	日本体育大学	43:15

学校対抗成績

1	日本大学	49p
2	University of Amsterdam	9p
3	早稲田大学	18p

女子 (12km)

1	岡本 二菜	スズキタイパ・ルイズミ	19:43
2	齋藤 望	日本体育大学	19:43
3	江藤里佳子	鹿屋体育大学	19:43
4	中村 妃智		19:46
5	中井 彩子	鹿屋体育大学	19:46
6	谷 伊央里	日本体育大学	19:46

2016 UCI シクロクロス世界選手権大会 (2016/1/30-31 ベルギー・ゾルダール)

男子リート

1	VAN AERT Wout	BEL	1:05:52
2	VAN DER HAAR Lars	NED	1:05:57
3	PAUWELS Kevin	BEL	1:06:27
54	小坂 光	栃木 プリジエンCX	-2 laps
55	竹之内 悠	京都 ベランクランク	-2 laps

女子リート

1	DE JONG Thalita	NED	41:03
2	MANI Caroline	FRA	41:17
3	CANT Sanne	BEL	41:27
34	與那嶺恵理	茨城 Forza Yonex	48:39

男子 U23

1	ISERBYT Eli	BEL	51:18
2	TOUPALIK Adam	CZE	51:19
3	HERMANS Quinten	BEL	51:23
34	沢田 時	滋賀 プリヂェストン アンカー	55:25

男子ジュニア

1	DEKKER Jens	NED	43:05
2	CRISPIN Mickaël	FRA	43:40
3	BONNET Thomas	FRA	44:05
59	織田 聖	埼玉 Above Bike	49:44

女子 U23

1	RICHARDS Evie	GBR	41:34
2	NOSKOVA Nikola	CZE	42:09
3	KAPTHEIJNS Maud	NED	42:21
21	坂口 聖香	兵庫 パナニックデイス	46:01

2016 UCI トラック世界選手権大会 (2016/3/2-6 ｲﾝｸﾞﾗﾝﾄﾞ・ロンドン)

男子スプリント

1	KENNY Jason	GBR	
2	GLAETZER Matthew	AUS	
3	DMITRIEV Denis	RUS	
20	中川誠一郎	JPCA JPCU 熊本	

男子ケリツ

1	EILERS Joachim	GER	
2	DAWKINS Edward	NZL	
3	AWANG Azizulhasn	MAS	
5	脇本 雄太	JPCA JPCU 福井	

男子ポイントレース

1	DIBBEN Jonathan	GBR	48p
2	GRAF Andreas	AUT	48p
3	DE KETELE Kenny	BEL	43p
5	橋本 英也	岐阜 鹿屋体育大学	31p

男子ムニアム

1	GAVIRIA RENDON Fernando	COL	191p
2	KLUGE Roger	GER	191p
3	O'SHEA Glenn	AUS	191p
16	窪木 一茂	和歌山 NIPPO VINI FANTINI	93p

SH:13,IP:19(4:36.601),EL:12,
KT:19(1:05.559),FL:19(13.928)

男子チームスプリント

1	New Zealand	NZL	43.257
2	Netherlands	NED	43.469
3	Germany	GER	43.536
12	日本	雨谷・中川・渡邊	44.960

女子スプリント

1	ZHONG Tianshi	CHN	
2	JUNHONG Lin	CHN	
3	VOGEL Kristina	GER	
31	前田佳代乃	京都	
33	石井 貴子	JPCA JPCU 千葉	

女子ケリツ

1	VOGEL Kristina	GER	
2	MEARES Anna	AUS	
3	JAMES Rebecca	GBR	
21	前田佳代乃	京都	

女子個人パシュート

1	WIASAK Rebecca	AUS	3:34.099
2	WOJTYRA Malgorzata	POL	3:41.904
3	FOREMAN-MACKAY Annie	CAN	3:36.055
13	上野みなみ	青森 鹿体大学院	3:49.788

女子スクラッチ

1	TROTT Laura	GBR	
2	WILD Kirsten	NED	
3	ROORDA Stephanie	CAN	
11	上野みなみ	青森 鹿屋体育大学院	

女子ポイントレース

1	PAWLOWSKA Katarzyna	POL	15p
2	GLAESSER Jasmin	CAN	14p
3	SIERRA CANADILLA Arlenis	CUB	14p
13	上野みなみ	青森 鹿屋体育大学院	2p

女子ムニアム

1	TROTT Laura	GBR	201p
2	BERTHON Laurie	FRA	183p
3	HAMMER Sarah	USA	182p
18	塚越さくら	鹿児島 鹿屋体育大学院	62p

SH:19,IP:19(3:47.939),EL:16
KT:8(35.940),FL:12(14.562)

女子チームスプリント

1	Russia		32.679
2	China	REL	
3	Germany		32.740
14	日本	石井・前田	34.721

女子チームパシュート

1	United States		4:16.802
2	Canada		4:19.525
3	Great Britain		4:16.540
13	日本	塚越・上野・梶原・中村	4:38.394

第21回 西日本チャレンジサイクロードレース (2016/3/13 広島・中央森林公園)

A-E (61.5km)

1	佐野 淳哉	静岡 マトリックス	1:34:20
2	Jose VICENT	大阪 マトリックス	1:34:20
3	田窪 賢次	大阪 マトリックス	1:34:20
4	水谷 翔	大阪 シムレーシング	1:34:44
5	木村 圭佑	大阪 シムレーシング	1:34:44

6 入部正太郎 大阪 シムレーシング 1:34:44

A-M (36.9km)

1	苗村 徹	大阪 クラブシムラスト	1:01:07
2	吉田 優一	奈良 ZAS Racing	1:01:09
3	小原 好人	岡山	1:01:09
4	森井 浩明	岡山 Dachs-Hund	1:01:09
5	辻 俊行	大阪 Tacurino	1:01:09
6	青木 拓朗	島根	1:01:09

A-U (36.9km)

1	森 勇太	東京 駒澤大学	59:29
2	武智 気吹	愛媛 エキップユー	59:29
3	松兼 輝明	大阪 関西大学	59:29
4	平井 大陽	愛知 SauceDevelopment	59:29
5	二宮 誉仁	大阪	59:30
6	今井 章雄	岡山 SauceDevelopment	59:30

A-J (36.9km)

1	大町 健斗	広島 安芸府中高校	57:55
2	吉岡 衛	奈良 奈良北高校	57:56
3	西原裕太郎	奈良 榛生昇陽高校	57:56
4	三好憲士郎	奈良 榛生昇陽高校	57:56
5	相葉健太郎	熊本 九州学院高校	57:57
6	平林 飛都	愛媛 松山聖陵高校	57:58

A-Y (36.9km)

1	日野 泰静	愛媛 チームグロジャ	57:58
2	津田 悠義	愛知 EQADS	57:58
3	福田 圭晃	神奈川BFY Racing	58:02
4	河野 翔輝	奈良 榛生昇陽高校	58:30
5	堀川 滉太	岡山 チーム岡山	58:32
6	藤野 竜弥	愛媛 松山聖陵高	1:02:25

A-F (24.6km)

1	唐見実世子	広島 弱虫ハダール	43:10
2	下山美寿々	大阪 大阪教育大附	44:10
3	菅原 朱音	鳥取 倉吉総産高校	44:14
4	棟近 陽子	奈良 BH ASTIFO	44:15
5	上田 順子	京都 BC.ANELLO	44:23
6	眞砂なな子	香川 英明高校	44:36

2016年 世界大学選手権大会自転車競技 (2016/3/16-20 ｱｲﾋﾞﾝｸﾞ・ﾀﾞｲﾁ)

男子クワリム (54km)

1	CAYUBIT Boots	Ryan PHI	19p
2	WEIFENBACH ALEXANDER	GER	18p
3	MONK Cyrus	AUS	11p
22	冨尾 大地	鹿屋体育大学	
23	小玉 凌	中京大学	
26	伊藤 宏人	順天堂大学	
31	馬渡 伸弥	鹿屋体育大学	
34	小林 和希	明治大学	
36	猿田 匠	東北学院大学	

男子ロード (120km)

1	MONK Cyrus	AUS	3:13:17
2	BATMUNKH Maral-Erdene	MGL	3:13:42
3	WEIFENBACH ALEXANDER	GER	3:13:52
9	伊藤 宏人	順天堂大学	3:22:55
17	馬渡 伸弥	鹿屋体育大学	3:30:15
27	冨尾 大地	鹿屋体育大学	3:45:36



伊藤宏人

- 30 小林 和希 明治大学 4:07:45
 小玉 凌 中京大学 DNF
 猿田 匠 東北学院大学 DNF

女子クロムリム (36km)

- 1 KASPER Romy GER 23p
 2 PLOSAJ NIKOL POL 16p
 3 BRZEZNA MONIKA POL 11p
 4 榎木 祥子 駒澤大学 5p
 9 齊藤 望 日本体育大学
 17 谷 伊央里 日本体育大学
 中井 彩子 鹿屋体育大学 DNF



榎木祥子

女子ロード (80km)

- 1 KASPER Romy GER 2:42:48
 2 PLOSAJ Nikol POL 2:47:00
 3 SALAMAT Marella PHI 2:47:01
 6 齊藤 望 日本体育大学 3:05:53
 8 榎木 祥子 駒澤大学 3:07:03
 12 中井 彩子 鹿屋体育大学 3:10:08
 谷 伊央里 日本体育大学 DNF

男子 MTB XCE (1.1km)

- 1 KAWALEC Marcin POL
 2 WOLF Louis GER
 3 前田 公平 法政大学



前田公平

男子 MTB XCO (37.1km)

- 1 KURCZAB Piotr POL 1:31:20.60
 2 KAWALEC Marcin POL 1:31:20.61
 3 WOLF Louis GER 1:32:48.64
 4 前田 公平 法政大学 1:36:22.78

女子 MTB XCE (1.1km)

- 1 WIEDENROTH Sofia GER
 2 TUROBOS Marta POL
 3 相野田静香 松本大学

女子 MTB XCO (26.5km)

- 1 WIEDENROTH Sofia GER 1:16:43.14
 2 PODGORSKA Aleksandra POL 1:19:12.21
 3 TUROBOS Marta POL 1:26:02.46
 4 相野田静香 松本大学 1:32:44.72



相野田静香

2016 UCI パラサイクリングトラック世界選手権大会 (2016/3/17-20 イリア・モンテネグロ)

- MC2 1km Time Trial
 1 CHERNOVE Tristen CAN 1:13.279
 2 XIE Hao CHN 1:15.311
 3 ROLFE Louis GBR 1:15.925
 11 川本 翔大 広島 大和産業 1:19.576

- MC3 1km Time Trial
 1 BERENYI Joseph USA 1:09.534
 2 OBYDENNOV Alexsey RUS 1:10.120
 3 BATUKOV Sergey RUS 1:10.317
 9 藤田 征樹 茨城 日立建機 1:12.381

- MC4 1km Time
 1 CUNDY Jody GBR 1:04.654
 2 METELKA Jozef SVK 1:06.046
 3 WEI Guoping CHN 1:08.590
 6 石井 雅史 東京 藤沢市みらい 1:09.530

- WB 1km Time Trial
 1 NETHERLANDS 1:06.095
 2 GREAT BRITAIN 1:07.483
 3 AUSTRALIA 1:07.575
 6 日本 鹿沼・田中 1:11.258

- MC2 3km Pursuit
 1 CHERNOVE Tristen CAN 3:44.498
 2 LYNCH Colin IRL 3:53.694
 3 GILMUTDINOV Arslan RUS 3:49.732
 11 川本 翔大 広島 大和産業 4:03.876
 16 相園健太郎 福岡 福岡大学 4:21.856

- MC3 3km Pursuit
 1 BERENYI Joseph USA 3:35.569
 2 NICHOLAS David AUS 3:36.371
 3 CLIFFORD Eoghan IRL 3:38.741
 4 藤田 征樹 茨城 日立建機 3:41.598

- MC4 4km Pursuit
 1 METELKA Jozef SVK 4:28.000
 2 BRIDGWOOD Kyle AUS 4:36.296
 3 PUDOV Sergey RUS 4:43.376
 11 石井 雅史 東京 藤沢市みらい 4:54.152

- WB 3km Pursuit
 1 NEW ZEALAND 3:30.148
 2 日本 鹿沼・田中 3:35.526
 3 GREAT BRITAIN 3:32.792

- WB Sprint
 1 AUSTRALIA
 2 GREAT BRITAIN
 3 NETHERLANDS
 4 日本 鹿沼・田中

- Mixed Team Sprint
 1 GREAT BRITAIN 49.230
 2 CHINA 49.530
 3 SPAIN 50.871
 7 日本 相園・石井・藤田 54.165

ひたちなか BMX 国際大会 Day1 (2016/4/16 茨城・ひたちなか)

- 男子リト
 1 松下 翼 神奈川 早稲田大学大学院
 2 吉村樹希敢 大阪 クレジットレーシング

- 3 吉井 康平 東京 MX インターナショナル
男子ジュニア
 1 山口 大地 新潟 Yess ファクトリー
 2 池上 泰地 大阪 kuwahara
 3 杉山 豪 埼玉

- 女子リト**
 1 瀬古 遥加 三重 IRC TIRE
 2 KHARISMA Novanda Elga インドネシア
 3 飯端 美樹 大阪 SE レーシング

- 女子ジュニア**
 1 島山 紗英 神奈川 MX インターナショナル
 2 KITWANITSATHIAN Chutikan タイ

ひたちなか BMX 国際大会 Day2 (2016/4/17 茨城・ひたちなか)

- 男子リト**
 1 長谷川湧斗 茨城
 2 長迫 吉拓 岡山 MX インターナショナル
 3 吉村樹希敢 大阪 クレジットレーシング

- 男子ジュニア**
 1 山口 大地 新潟 Yess ファクトリー
 2 池上 泰地 大阪 kuwahara
 3 杉山 豪 埼玉

- 女子リト**
 1 瀬古 遥加 三重 IRC TIRE
 2 KHARISMA Novanda Elga インドネシア
 3 DUANGKAMON Thongmee タイ

- 女子ジュニア**
 1 島山 紗英 神奈川 MX インターナショナル
 2 KITWANITSATHIAN Chutikan タイ

MTB Coupe du Japon びわこ高島 (2016/5/2-5 滋賀・高島)

- XCO 男子リト (25.34km)
 1 中原 義貴 大阪 BH SR 1:41:11.43
 2 沢田 時 滋賀 BS Anchor 1:42:23.99
 3 恩田 祐一 新潟 BH SR 1:43:07.08

- XCO 女子 (14.48km)
 1 末政 実緒 兵庫 SRAM 1:13:41.49
 2 小林可奈子 長野 安曇野 1:17:20.12
 3 橋口 陽子 東京 轡屋 1:29:27.10

- XCO 男子マスターズ (14.48km)
 1 酒居 良和 広島 マクシ☆☆ 1:08:00.27
 2 大橋 優 奈良 Poppo 1:08:01.10
 3 蜂須賀智也 愛知 BUCYO 1:09:08.35

- XCO 女子ジュニア (14.48km)
 1 梶 鉄輝 兵庫 Sonic R. 1:03:03.65
 2 小林 勇輝 長野 伊ノ信濃 1:04:59.64
 3 大西 秀典 兵庫 Sonic R. 1:05:10.55

- DHI 男子リト (2km) *=Junior
 1 泉野 龍雅 愛知 AKI Fact. 3:16.948
 2 井岡 佑介 愛知 ホットスピ 3:20.218
 3 浅野 善亮 愛知 GIANT 3:20.230

- DHI 女子リト (2km)
 1 富田 敬子 奈良 Acciarpone 4:09.396
 2 安福 範子 愛知 ACCEL 4:14.515

- DHI 男子マスターズ (2km)
 1 栗野宏一郎 岐阜 KYB 3:34.115
 2 荒金 知史 大阪 シブドリキ 3:43.077
 3 黒川陽二郎 石川 FRS 3:43.662

第22回アジア・マウンテンバイク選手権大会
 第8回アジアジュニア・マウンテンバイク選手権大会 (2016/5/4-8 タイ・チャイト)

- XC Team Relay (20.8km)
 1 THAILAND 58:24
 2 CHINA 1:00:29
 3 日本 平野・佐藤・北林・平林 1:01:32

XCO Men Elite (26km)

1	山本 幸平	北海道 Trek Factory	1:11:51
2	KAZANTSEV Kirill	KAZ	1:12:29
3	CHAN Chun Hing	HKG	1:13:09
4	武井 亨介	茨城 FORZA	1:14:40
5	平野 星矢	長野 BS Anchor	1:15:41
19	平林 安里	長野 Specialized	1:20:37

XCO Men Junior (15.6km)

1	KLAHAN Afichanan	THA	45:36
2	LYU Xianjing	CHN	46:26
3	MA Hao	CHN	46:57
7	江越 昇也	神奈川 大楠高 ProRide	51:01
	北林 力	長野 白馬高 ProRide	DNF

XCO Women Junior (10.4km)

1	PANYAWAN Nathalie	THA	34:54
2	HE Guangji	CHN	37:00
3	MOHD FUAD Siti Nur Adiba Akma	MAS	37:19
5	佐藤 寿美	北海道 Miyata-Merida	38:46

XCE Men Elite (0.9km)

1	SUKPRASART Keerati	THA	
2	CHIANG Sheng Shan	TPE	
3	KHODAYARI Farzad	IRI	
8	北林 力	長野 白馬高校 ProRide	
20	平林 安里	長野 Specialized	
21	江越 昇也	神奈川 大楠高校 ProRide	

XCE Women Elite (0.9km)

1	PHETPRAPHAN Warinthorn	THA	
2	NUNTANA Supuksorn	THA	
3	佐藤 寿美	北海道 Miyata-Merida	

DHI Men Elite (1km)

1	清水 一輝	愛知 Patrol Mt.	1:54.666
2	JARUPENG Tanaphon	THA	1:55.343
3	永田 隼也	神奈川 AKI Fact.	1:56.084
4	井本はじめ	兵庫 SRAM	1:56.714

DHI Women Elite (1km)

1	DEEKABALLES Vipavee	THA	2:19.773
2	CHATKAMNOED Siraphatson	THA	2:42.456
3	RIYANTI Fitriyanti	INA	2:46.549
4	中川 弘佳	大阪 Lovespo	2:53.735

- 地域大会 -

第4回イカガル・ザ・ロード
(2015/6/21 北海道・遠軽)

男子リト

1	西尾 勇人	順天堂大学	3:48:20.87
2	松田 究	ライトファクトリー	3:48:28.34
3	木村 裕己	なるしまフレンド	3:48:56.41
4	片桐 耕司	北海道大学	3:49:05.28
5	栗栖 嵩	N.ケイブ	3:49:12.28
6	中川 拳	帯広三条高校	3:51:43.05

第49回北海道自転車競技選手権大会
(2015/6/14 北海道・函館市宮競輪場)

男子スプリント

1	渋谷 海		
2	佐々木和也		
3	大森 光明		

男子1kmタイムトライアル

1	渋谷 海	1:11.93
2	大森 光明	1:12.78
3	近藤 匡	1:13.27

男子ケリッ

1	佐々木和也		
2	渋谷 海		
3	永田 友貴		

男子4km速度競走

1	中川 拳		
2	西川 圭吾		
3	秋元 優星		

男子ポイントレース

1	中川 拳	54p
2	金澤 昭二	13p
3	西川 圭吾	-3p

女子500mタイムトライアル

1	寺井えりか	43.67
---	-------	-------

平成27年度第42回東北総合体育大会
自転車(2015/7/24-26 岩手・紫波)

成年スプリント

1	三浦 元耕	岩手	
2	牧田 賢也	福島	
3	大木 拓斗	福島	

成年ケリッ

1	大木 拓人	福島	
1	風間 涼帆	福島	
1	菊池 信治	岩手	
1	澤口 馨太	岩手	
1	三浦 元耕	岩手	
1	宇野 喬紋	山形	

成年スクラッチ

1	久保田元気	福島	10:27.43
2	吉田 優樹	福島	
3	小松 定俊	宮城	

成年個人ロードレース(87.3km)

1	武田 祥典	山形 天童市	2:13:16.77
2	今田 崇史	山形 東北学院	2:13:20.54
3	宇野 喬紋	山形 天童給食	2:13:22.33
4	菅藤 貴昭	山形 航空電子	2:16:02.84
5	吉田 優樹	福島 日本大学	2:16:05.05
6	久保田元気	福島 南東北病	2:16:07.63

少年スプリント

1	小原文一郎	青森	
2	安倍 大成	岩手	
3	大澤 勇騎	青森	
3	八木澤友貴	青森	

少年スクラッチ

1	水野 慎人	福島	10:32.28
2	後藤 啓	宮城	
3	糸井健太郎	岩手	

少年個人ロードレース(67.9km)

1	鶴沼 利久	福島 白河実業	1:42:16.34
2	西塔 愛良	山形 村山産業	1:42:16.86
3	尾形 尚彦	宮城 東北高校	1:42:17.32
4	渡邊 祐希	福島 学法石川	1:42:17.77
5	山本 真寛	青森 八工第一	1:42:18.32
6	室内 瑞貴	宮城 東北高校	1:42:18.78

チームスプリント

1	青森 八木澤・宮崎・小原	1:05.50
2	岩手 三浦・澤口・加藤	1:05.74
3	福島 風間・大木・牧田	1:05.82

チームペーシュー

1	福島 久保田・小玉・鈴木・藤田	4:28.47
2	青森 三浦・福田・堀込・嵯峨	4:31.19
3	岩手 三島・尾形・室内・高橋	4:36.56

総合成績

1	福島	127p
2	岩手	90.5p
3	青森	76p

第67回関東自転車競技選手権大会
(2015/7/10-11 新潟・弥彦競輪場)

男子スプリント

1	坂井 洋	栃木 日本大学	
2	鈴木 輝大	東京	
3	中島 詩音	山梨 甲府工業高	

男子1kmタイムトライアル

1	治田 知也	新潟 吉田高	1:08.144
2	手嶋 将大	千葉 早稲田大	1:08.601
3	小池 千啓	栃木 作新学院	1:09.412

男子ケリッ

1	坂井 洋	栃木 日本大学	
2	鈴木 玄人	東京 法政大学	
3	板山 風瑞	埼玉 観明高	

男子4km速度競走

1	佐々木真吾	栃木 朝日大学	
2	小清水拓也	神奈川 湘南 ^ハ ルマレ	
3	橋詰 丈	東京 中央大学	

男子ポイントレース(24km)

1	片桐 善也	新潟 日本大学	41p
2	小口 達矢	栃木 作新学院高	20p
3	石井 駿平	群馬 前橋工業高	15p

男子チームスプリント

1	栃木 小池・坂井・福富	1:19.668
2	千葉 手嶋・板倉・佐藤	1:20.588
3	東京 鈴木・小林・納家	1:21.880

男子チームペーシュー

1	栃木 吉田・佐々木・中村・小口	4:39.376
2	東京 鈴木・磯川・橋詰・菊山	4:41.141
3	神奈川 山崎・小清水・斎藤・小野	4:44.810

女子500mタイムトライアル

1	佐藤 千晶	東京	39.103
2	石高絵莉菜	新潟 吉田高	40.165
3	石井 菜摘	栃木 作新学院高	40.418

女子2km個人ペーシュー

1	佐藤 千晶	東京	2:52.432
2	梶原 瑞華	新潟 吉田高	2:56.235
3	小口加奈絵	栃木 作新学院	2:56.775

女子スクラッチ

1	石井 菜摘	栃木 作新学院	9:23.910
2	小林 彩乃	群馬 前橋工業高	
3	石高絵莉菜	新潟 吉田高	

総合成績順位

1	栃木	47p
2	東京	27p
3	新潟	18p

第50回高石杯関東地域自転車道路競走大会
(2016/2/14 埼玉・大宮けんぼぐラウド)

一般男子

1	小畑 郁	東京 なるしま	45:41.096
2	小室 雅成	埼玉 Walkride	45:41.843
3	山本 優道	神奈川 神奈川県	45:41.939
4	川田 隆作	栃木 Honda	45:42.085
5	阿部 航大	栃木 Honda	45:42.096
6	高岡 亮寛	東京 付-メ信濃	45:43.058

高校生男子

1	篠田 幸希	群馬 前橋工高	37:42.931
2	眞杉 匠	栃木 作新学院	37:43.803
3	渡辺 慶太	埼玉 浦和工高	37:44.012
4	東 亮介	東京 八王子桑志	37:44.128
5	花田 聖誠	東京 昭和第一	37:44.461
6	越智 崇裕	神奈川 日大藤沢	37:44.504

中学生男子

1	小野寺 慶	栃木 プラザブリック	10:59.323
2	福田 圭晃	神奈川 BFY R.	11:24.123
3	海野 晋作	東京 バイブルガ	11:24.264
4	篠原 輝利	茨城	11:24.342
5	五十嵐 洸太	神奈川 BFY R.	11:25.409
6	相原 土穂	神奈川 ^ハ ルマレ	11:41.614

オープン女子

1	細谷 夢菜	埼玉 浦和工高	32:59.623
2	藤田まりあ	埼玉 浦和工高	33:58.729
3	石井 菜摘	栃木 作新学院	33:59.424
4	高橋 吹歌	埼玉 R G Japan	34:00.018
5	小口加奈絵	栃木 作新学院	34:03.408
6	戸井田敬子	千葉	34:03.755

第47回中部8県対抗自転車競技選手権大会(2015/9/12 静岡・伊豆半島)

成年男子スプリント

1	中村 友哉	三重
2	栗田 万生	石川
3	長谷部龍一	岐阜

成年男子1kmタイムトライアル

1	寺崎 浩平	福井	1:04.670
2	相馬 義宗	岐阜	1:06.683
3	血屋 豊	三重	1:06.756

成年男子ケリ

1	佐野 伸弥	岐阜
2	鈴木 陸来	静岡
3	大島 理彦	長野

成年男子スクラッチ

1	蠣崎 藍道	静岡
2	廣瀬 元輝	福井
3	赤堀 健太	岐阜

成年男子ポイントレース

1	近谷 涼	富山	26p
2	高士 拓也	三重	23p
3	浦田 真成	岐阜	22p

少年男子スプリント

1	武雄 龍人	三重
2	三輪 達也	石川
3	大西 紘平	岐阜

少年男子1kmタイムトライアル

1	栗山 和樹	岐阜	1:06.670
2	松本 京太	静岡	1:07.590
3	脇本 勇希	福井	1:07.638

少年男子ケリ

1	山本 英弘	岐阜
2	吉田 英司	福井
3	山本 光洋	三重

少年男子スクラッチ

1	山田 諒	岐阜
2	天春 雄也	三重
3	若松 凱聖	石川

少年男子ポイントレース

1	永田 吏玖	岐阜	55p
2	菅原 悠斗	岐阜	37p
3	竹澤 啓介	福井	27p

男子チームスプリント

1	三重	血屋・堀田・高士	48.467
2	福井	寺崎・中川・脇本	49.270
3	岐阜	佐野・山本・山田	49.954

男子チームパシュート

1	岐阜	相馬・渡邊・浦田・永田	4:22.370
2	静岡	鈴木・高原・蠣崎・坂野	4:31.329
3	福井	吉岡・廣瀬・小松原・竹澤	4:36.393

女子500mタイムトライアル

1	中村 愛花	福井	39.239
2	野寺 楓	静岡	39.956
3	浅田 愛理	愛知	40.078

女子2km個人パシュート

1	中村 愛花	福井	2:41.708
2	川嶋 百香	三重	2:45.284
3	當銘沙恵美	静岡	2:45.815

女子3km個人パシュート

1	中嶋 綺砂	三重	4:18.231
---	-------	----	----------

第49回中部8県対抗自転車競技大会道路競走(2015/9/13 静岡・日本CSC)

男子個人ロードレース(50km)

1	大浦 恭史	富山	1:29:38
2	小玉 凌	愛知	1:29:38

3	渡邊 雄太	長野	1:29:44
4	高橋 伸成	静岡	1:29:44
5	天春 雄也	三重	1:29:48
6	佐藤 大紀	愛知	1:30:01

女子個人ロードレース(20km)

1	野寺 楓	静岡	43:19
2	川嶋 百香	三重	44:59
3	中村 愛花	福井	46:08
4	増渕 綾乃	愛知	47:12
5	中嶋 綺砂	三重	47:43

第50回全国地域別自転車競技道路競走大会近畿地域大会(2015/5/24-25 京都・丹南市美山町)

男子(72.8km)

1	下島 将輝	兵庫	Coraggio1:43:09.51
2	豊田 勝徳	大阪	Coraggio1:43:09.94
3	山下 貴宏	奈良	江崎 奈良 1:43:10.10
4	永良 大誠	兵庫	マリック 1:43:10.25
5	大塚 航	京都	江崎 奈良 1:43:53.00
6	藤岡 徹也	兵庫	1:43:53.81

女子(41.6km)

1	上田 純子	京都	1:10:40.14
2	高田 由貴	大阪	1:13:13.58
3	嶋田 美貴	京都	1:17:06.83

第47回近畿地域自転車競技選手権大会(2015/10/18 兵庫・明石公園競技場)

男子スプリント

1	末廣 快理	兵庫	三田学園高校
2	南 蓮	和歌山	和歌山北高校
3	出口謙一郎	大阪	茨木工科高校

男子1kmタイムトライアル

1	伊藤 歩登	兵庫	神戸弘陵 1:08.864
2	上山 夏樹	兵庫	三田学園 1:09.776
3	末廣 快理	兵庫	三田学園 1:09.790

男子ケリ

1	今西 力太	奈良	榛生昇陽高校
2	長谷川聖汰郎	大阪	興国高校
3	上山 夏樹	兵庫	三田学園高校

男子スクラッチ

1	山住虎太郎	大阪	興国高校
2	伊藤 歩登	兵庫	神戸弘陵学園高校
3	今西 力太	奈良	榛生昇陽高校

男子ポイントレース

1	谷 和也	大阪	市立堺高校 27p
2	吉岡 衛	奈良	奈良北高校 20p
3	奥村 十夢	奈良	榛生昇陽高校 20p

男子チームスプリント

1	兵庫県	伊藤・末廣・上山	1:23.256
2	榛生昇陽	今西・河野・二宮	1:24.942
3	和歌山北	張野・山本・南	1:25.538

男子チームパシュート

1	榛生昇陽	奥村・三好・岡本・西原	4:39.597
2	興国高校	長谷川・山住・岸本・菊本	4:55.207

女子500mタイムトライアル

1	中本 真弥	和歌山	和歌山北高校 39.48
2	坂本ほのか	奈良	榛生昇陽高校 40.42
3	小川 綾	奈良	奈良北高校 44.67

女子2km個人パシュート

1	坂本ほのか	奈良	榛生昇陽 2:44.811
2	中本 真弥	和歌山	和歌山北 3:01.431
3	小川 綾	奈良	奈良北高 3:06.603

第50回中国地域自転車道路競走大会(2015/6/7 島根・さくらおろち湖)

一般男子(86.1km)

1	伊藤 翔吾	広島A	2:24:58
2	入木 大輔	岡山D	2:25:08
3	河内 一晟	広島A	2:25:29

4	清涼 琢己	鳥取A	2:25:29
5	村出真一朗	鳥取A	2:25:32
6	酒居 良和	広島A	2:25:32

一般女子(36.9km)

1	白井 彩	1:19:38
---	------	---------

高校男子(86.1km)

1	藤田 俊輔	水島工	2:23:57
2	小野 舜介	興陽	2:24:03
3	黒川 晴智	東岡山工	2:24:12
4	大橋 孝幸	水島工	2:24:22
5	石崎 和樹	水島工	2:25:25
6	牧田 大輝	倉吉西	2:26:11

高校女子(36.9km)

1	根岸 恵美	興陽	1:15:14
2	菅原 朱音	倉吉総産	1:15:35
3	吉原 朱美	興陽	1:19:28

団体成績

1	広島A	伊藤・河内・酒居	4p
2	鳥取A	村出・清涼・松下	9p
3	岡山D	入木・藤井・白石	17p

中国地域自転車選手権大会トラック(2015/9/6 鳥取・倉吉自転車競技場)

男子スプリント

1	佐伯 亮輔	鳥取	中央大学
2	山根 将太	鳥取	倉吉西高
3	佐伯 洸輔	鳥取	倉吉東高

男子1kmタイムトライアル

1	山根 将太	鳥取	倉吉西高 1:07.530
2	佐伯 亮輔	鳥取	中央大学 1:08.450
3	池川 瑠威	広島	市立広島工 1:09.480

男子ケリ

1	池川 瑠威	広島	市立広島工
2	北尾 海斗	広島	市立広島工
3	山田 康太	鳥取	京都産業大学

男子スクラッチ(8km)

1	河内 一晟	広島	市立広島工・教
2	小野 舜介	広島	興陽高校
3	金田 聡士	鳥取	朝日大学

男子チームスプリント

1	鳥取県	佐伯・山根・山根	1:03.830
2	倉吉西	保田・青木・中原	1:09.540
3	広島工	三登・池川・北尾	1:09.830

男子チームパシュート

1	鳥取県	金田・金田・八田・山田	4:38.880
2	広島県	戸谷・池川・北尾・河内	4:48.710
3	倉吉総産	可知・小泉・松岡・寺田	5:00.960

女子500mタイムトライアル

1	伊藤 花歩	鳥取	鳥取短大 39:150
2	菅原 朱音	鳥取	倉吉総産高 40:090
3	長石 悠里	鳥取	倉吉西高 41:250

女子2km個人パシュート

1	菅原 朱音	鳥取	倉吉総産 2:42.880
2	根岸 恵美	岡山	興陽高 2:49.700
3	伊藤 花歩	鳥取	鳥取短大 2:51.130

女子チームスプリント

1	鳥取県選抜	伊藤・菅原	51.570
2	興陽高	吉原・根岸	52.590
3	倉吉西高	長石・原田	56.340

第40回四国地域自転車道路競走大会(2015/11/1 香川・宝山湖)

リトトラック

1	津村 篤志	高知	高知工 1:03:11.541
2	磯田 竜介	香川	Tyrell 1:03:12.566
3	森兼 賦	徳島	エス・ール 1:03:13.834
4	水田 圭祐	香川	Tyrell 1:03:33.945
5	中屋 貴義	高知	チノワグス 1:06:10.481

U-23 クラス

- 1 宮内 渉 愛媛 Massa 1:03:10.827
- 2 森 智大 徳島 徳島 R. 1:03:12.296
- 3 二神誠一郎 愛媛 明星大 1:03:13.936
- 4 神笠 紘平 徳島 エアール 1:03:13.998
- 5 小野 尊之 香川 龍谷大 1:03:31.415
- 6 小西 瑛久 愛媛 関西大 1:04:13.591

ジュニアクラス

- 1 近藤 翔馬 愛媛 松山聖 1:03:09.956
- 2 平林 楓輝 愛媛 松山聖 1:03:11.147
- 3 河野 玄樹 香川 高松工 1:03:11.406
- 4 森本桂太郎 愛媛 松山聖 1:03:12.049
- 5 森原 力 香川 高松工 1:03:12.169
- 6 梅本 泰生 香川 石田高 1:03:12.797

第47回四国地域自転車競技選手権大会
(2015/11/29 徳島・小松島競輪場)

男子スプリント

- 1 真鍋 智寛 愛媛 松山聖陵高校
- 2 原 良太 徳島 徳島レーシング
- 3 津村 篤志 高知 高知工科大学

男子1kmタイムトライアル

- 1 竹井 慧 香川 高松工芸高 1:12.04
- 2 衆名 太一 愛媛 松山聖陵高 1:12.27
- 3 岡崎 陸登 愛媛 松山聖陵高 1:12.67

男子ケリ

- 1 田崎 貴圭 香川 高松工芸高校
- 2 遠藤 拓巳 香川 石田高校
- 3 衆名 太一 愛媛 松山聖陵高校

男子4km 速度競走

- 1 岡崎 陸登 愛媛 松山聖陵高校
- 2 梅本 泰生 香川 石田高校
- 3 宮内 渉 愛媛 MASSA ANDEX

男子スクラッチ (8km)

- 1 平林 楓輝 愛媛 松山聖陵高校
- 2 藤野 竜弥 愛媛 松山聖陵高校
- 3 吉原 愛貴 香川 石田高校

男子ポイントレース (24km)

- 1 宮内 渉 愛媛 Massa An dex 29p
- 2 遠藤 拓巳 香川 石田高校 24p
- 3 竹井 慧 香川 高松工芸高校 19p

男子チームスプリント

- 1 愛媛 岡崎・真鍋・衆名 1:22.91
- 2 香川 堀・梅本・遠藤 1:27.90
- 3 徳島 佐々木・原田・原 1:28.04

男子チームパシュート

- 1 香川 堀・梅本・遠藤・竹井 4:51.17
- 2 愛媛 平林・廣本・藤野・住田 5:05.82
- 3 高知 岡村・堀田・山崎・森口 5:25.11

ジュニア女子500mタイムトライアル

- 1 佐伯 智恵 香川 笠田高校 40.30
- 2 眞砂なな子 香川 英明高校 41.88
- 3 松木 幹奈 香川 笠田高校 46.44

ジュニア女子2km個人パシュート

- 1 眞砂なな子 香川 英明高校 2:52.72
- 2 佐伯 智恵 香川 笠田高校 3:04.01
- 3 松木 幹奈 香川 笠田高校 3:17.84

マスタ女子500mタイムトライアル

- 1 梶 徳恵 香川 香川県車連 43.90

マスタ女子2km個人パシュート

- 1 梶 徳恵 香川 香川県車連 3:04.87

団体総合

- 1 愛媛 77p 2 香川 70p 3 高知 18p

平成27年度九州地域自転車競技大会
(2015/8/25-27 佐賀・武雄競輪場)

男子スプリント

- 1 甲斐 俊祐 大分 別府商業高校
- 2 谷口 力也 熊本 開新高校
- 3 坂田 康季 佐賀 龍谷高校

男子1kmタイムトライアル

- 1 廣瀬 丈士 熊本 開新高校 1:08.12
- 2 東矢 圭吾 熊本 千原台高校 1:08.54
- 3 甲斐 俊祐 大分 別府商業高 1:08.69

男子ケリ

- 1 谷口 力也 熊本 開新高校
- 2 廣瀬 丈士 熊本 開新高校
- 3 東矢 圭吾 熊本 千原台高校

男子4km 速度競走

- 1 廣瀬 玲介 大分 別府商業高 5:00.63
- 2 田川 翔琉 熊本 ルーテル学院高校
- 3 鶴 健志 福岡 祐誠高校

男子スクラッチ (8km)

- 1 平田 裕貴 熊本 開新高校 10:17.68
- 2 岩見 勇希 長崎 鹿町工業高校
- 3 長松 大祐 大分 別府商業高校

男子ポイントレース

- 1 廣瀬 玲介 大分 別府商業高校 28p
- 2 中山 駿 大分 日出総合高校 18p
- 3 花田 凱成 福岡 祐誠高校 16p

男子チームスプリント

- 1 熊本 東矢・廣瀬・田川 1:19.17
- 2 大分 田村・甲斐・長松 1:20.02
- 3 佐賀 坂田・橋本・島本 1:22.54

男子チームパシュート

- 1 長崎 岩見・渡邊・岡村・片野 4:35.39
- 2 熊本 栗原・満田・平田・佐藤 4:39.07
- 3 大分 中山・丸山・廣瀬・長松 4:48.95

女子500mタイムトライアル

- 1 山口 伊吹 長崎 鹿町工業高校 39.41
- 2 高尾貴美歌 長崎 鹿町工業高校 41.72
- 3 岩下奈芽妃 大分 別府翔青高校 45.49

女子スプリント

- 1 山口 伊吹 長崎 鹿町工業高校
- 2 高尾貴美歌 長崎 鹿町工業高校
- 3 岩下奈芽妃 大分 別府翔青高校

女子2km個人パシュート

- 1 山口 伊吹 長崎 鹿町工業高 2:50.40
- 2 高尾貴美歌 長崎 鹿町工業高 2:52.18
- 3 岩下奈芽妃 大分 別府翔青高 3:09.56

NEWS

加盟団体 事務局 住所等変更

●茨城県自転車競技連盟

〒305-0025 茨城県つくば市花室1130-1 株式会社Hi-Bike 内
TEL: 029-875-9231 E-mail: ibaraki.cf@gmail.com

JCF事務局 人事異動 平成28年4月1日付

渡邊 修功 (新任) 総務部部長
林 富士夫 (異動) 選手強化部専門役
大島 環 (異動) 選手強化部 次長
吉井富美子 (異動) 財務課・競技課係長
松本 里香 (異動) 総務課 課長補佐

JAPAN NATIONAL CYCLING TEAM
OFFICIAL SPONSOR



www.ogkkabuto.co.jp

株式会社 オージーケーカブト 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6丁目3-4 TEL.06-6747-8031 FAX.06-6747-8023

男子エリート・ロードレースランキング

2016/4/30

順位	名前	所属	合計	T0J	T0J	T0J	熊野	熊野	熊野	全日本	全日本	T北海道	T北海道	全日本	世界選	Japan	ツルト*	アジア選	アジア選	
				総合	3 St	7 St	総合	1 St	3 St	TT	ロード	総合	3 St	実業団	ロード	Cup	沖縄	TT	ロード	ロード
				2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2016	2015
				5/17-24	5/20	5/24	5/28-31	5/29	5/31	6/21	6/28	9/13	9/13	9/27	9/27	10/18	11/8	1/21	1/24	
1	新城 幸也	JPCA	120p												10	40			70	
2	畑中 勇介	東京	48p							30				10		8				
3	別府 史之	JPCA	40p																40	
3	窪木 一茂	和歌山	40p							40										
5	入部 正太郎	奈良	33p								3						30			
6	増田 成幸	栃木	28p						5	16								7		
7	初山 翔	神奈川	19p				6			1						4	8			
8	鈴木 龍	栃木	15p						2	10							3			
8	鈴木 真理	栃木	15p							8				7						
10	吉田 隼人	奈良	12p							12										
10	中根 英登	愛知	12p				12													
10	西園 良太	鹿児島	12p						2		10									
13	井上 和郎	福井	10p														10			
14	中村 龍太郎	千葉	8p						8											
14	鈴木 謙	栃木	8p				8													
16	内間 康平	沖縄	6p								6									
16	黒枝 士揮	大分	6p							6										
16	黒枝 咲哉	大分	6p			4						2								
19	綾部 勇成	JPCA	5p						5											
20	野中 竜馬	広島	4p											4						
21	中島 康晴	福井	3p							3										
22	山本 隼	山梨	2p							2										
22	大久保 陣	鹿児島	2p			2														
22	土井 雪広	山形	2p		2															

※ 前号において別府選手のポイントに一部に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

連盟の動き (3月下旬～5月中旬)

3月23日 ロード U23 ネイションズカップ選手団出発
2016年アジア選手権実行委員会

31日 平成27年度第5回選手強化委員会

4月5日 女子ロードツアーオブタイランド選手団出発

6日 リオ五輪トラック候補選手発表記者会見

8日 JKA 公益事業振興補助事業に係る連絡会議

17日 リオ五輪強化合宿(短・中距離)

20日 ジュニアロード強化合宿

26日 平成28年度第1回競技運営委員会

平成28年度第1回選手強化本部会

平成28年度第1回理事会

トラック中距離強化合宿

5月3日 2016年MTBアジア選手権日本代表選手団出発

ジュニアトラック強化合宿

8日 リオ五輪強化合宿(短・中距離)

13日 リオパラリンピック候補選手発表記者会見

於：フランス、ベルギー、オランダ

於：東京・自転車総合ビル 601会議室

於：東京・自転車総合ビル 602会議室

於：タイ 帰国→4/12

於：東京・味の素ナショナルトレーニングセンター

於：東京・自転車総合ビル 601会議室(～9日)

於：静岡・伊豆ベロドローム(～22日)

於：青森(～4/24)

於：東京・自転車総合ビル 602会議室

於：東京・自転車総合ビル 602会議室

於：東京・自転車総合ビル 601会議室

於：JISS、伊豆ベロドローム(～5/3)

於：タイ 帰国→5/10

於：静岡・伊豆ベロドローム(～7日)

於：静岡・伊豆ベロドローム(短～13日、中～15日)

於：東京・自転車総合ビル 601会議室

新しい翼で、世界の空へ。

member of oneworlds



JAPAN AIRLINES

UCI パラサイクリング・トラック世界選手権大会 日本代表選手団

大会名 2016 UCI Para-Cycling
Track World Championships
開催日程 2016年3月17日～20日
開催場所 イタリア・モンテキアリ
代表選手団
チーフ・リーダー 権丈 泰巳 (JPCF 強化委員長)
ヘッドコーチ 柿木 克之 (JPCF 強化支援スタッフ)
メカニック 鬼原 積 (JPCF 強化支援スタッフ)
トレーナー 菊地 孝明 (JPCF 強化支援スタッフ)
選手 藤田 征樹 (茨城・日立建機株式会社)
石井 雅史 (東京・藤沢のみらい創造財団)
相園健太郎 (福岡・福岡大学)
川本 翔大 (広島・大和産業)
鹿沼由理恵 (東京・楽天ソシオビジネス)
田中 まい (千葉・JPCU 千葉) P.

ロード U23 ネイションズカップ春季欧州遠征 日本代表選手団

大会名 ロード U23 ネイションズカップ
派遣期間 2016年3月23日～4月20日
開催場所 フランス、ベルギー、オランダ
代表選手団
スタッフ 浅田 颯 (JCF ロード競技部会員)
市川 貴大 (JCF 強化支援スタッフ)
選手 雨澤 毅明 (宇都宮ブリッツェン)
岡本 隼 (日本大学)
小橋 勇利 (シマノレーシング)
小林 海 (Rimoconstruccionespaulino)
孫崎 大樹 (早稲田大学)
山本 大喜 (鹿屋体育大学)
松本 祐典 (明治大学)
徳田 優 (鹿屋体育大学)
石上 優大 (EQADS)

2016 Women's Tour of Thailand 日本代表選手団

大会名 2016 Women's Tour of Thailand
開催日程 2016年4月8日～10日
派遣期間 2016年4月5日～12日
開催場所 タイ・ウドンタニ
代表選手団
監督 柿木 孝之 (ロード強化コーチ)
メカニック 中村 仁 (強化支援スタッフ)
マッサー 穴田 悠吾 (強化支援スタッフ)
選手 金子 広美 (三重・イナナーメアイランド信濃山形)
吉川 美穂 (和歌山・Live GARDEN Bici Stelle)
上野みなみ (鹿児島・CIEL BLEU KANOYA)
坂口 聖香 (兵庫・パナソニックレディース)
梶原 悠未 (埼玉・筑波大学)

2016 UCI BMX スーパークロス・ワールドカップ 日本代表選手団

大会名 2016 UCI BMX スーパークロス・ワールドカップ 第2戦
開催日程 2016年4月9日～10日
開催場所 イギリス・マンチェスターサイクリングセンター
代表選手団
マネージャー 三瓶 将廣 (JCF 強化支援スタッフ / BMX コーチ)
選手 長迫 吉拓・松下 翼・瀬古 遥加・畠山 紗英

2016 MTB アジア選手権大会 日本代表選手団

大会名 第22回アジアMTB選手権 / 第8回アジアジュニアMTB選手権
派遣期間 2016年5月3日～10日
開催場所 タイ王国・Chai Nat 州
代表選手団
監督 鈴木 雷太 (JCF 強化支援スタッフ)
メカニック 小林 輝紀 (JCF 強化支援スタッフ)
今田 大三 (JCF 強化支援スタッフ)
マッサー 軽部 修子 (JCF 強化支援スタッフ)
西川 晶子 (JCF 強化支援スタッフ)
通訳 中川 茂 (現地スタッフ)
選手
DHI 清水 一輝 (愛知・Patrol Mountain FJC)
永田 隼也 (神奈川・Aki Factory/Oakley)
井本はじめ (兵庫・Sram/Santacruz)
中川 弘佳 (大阪・Lovespo.com)
XCO 山本 幸平 (北海道・Trek Factory Racing)
武井 亨介 (茨城・Team Forza)
平林 安里 (長野・Specialized Racing Japan)
平野 星矢 (長野・Bridgestone Anchor Cycling Team)
北林 力 (長野・白馬高等学校 Proride)
江越 昇也 (神奈川・大楠高等学校 Proride)
佐藤 寿美 (北海道・Miyata-Merida Biking Team)



エイチ・アイ・エスは

世界に挑み続けるアスリート・チームを

サポートしています。



株式会社 エイチ・アイ・エス 関東法人団体専門店事業部 法人営業グループ 東京スポーツイベントセクション

電話：03-6836-2550 営業時間：平日 10:00～18:30 / 土 10:00～15:30 / 日・祝 休 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-33-8 サウスゲート新宿ビル1階

<http://www.sports-his.com>

第41回 チャレンジサイクルロードレース大会

A-Eはブリッツェンの堀が優勝



4月3日、日本サイクルスポーツセンターにおいて、第41回チャレンジサイクルロードレースが開催された。

午後の部のA-Fクラスで落車が発生したため、A-E, U, Fの3クラスで一時レースを中断した。その後、中断した時のタイム差を持って再スタートし、距離は一部短縮されたもののレースは成立しA-Eクラスでは、宇都宮ブリッツェンの堀が初優勝した。



A-E 優勝の堀

A-F 優勝の齋藤 (218) と A-FJ 優勝の細谷 (227)



A-M 優勝の半澤 (913)



A-J 優勝の奥村 (679)



A-U 優勝の中井

【競技結果】

**第41回 チャレンジサイクロードレース大会
(2016/4/3 静岡・日本CSC)**

A-E

- 1 堀 孝明 栃木 プリツェン 46:44.57
- 2 木カ プジョール Team UKYO 46:45.13
- 3 中根 英登 愛知 愛三工業 46:45.67
- 4 山下 貴宏 兵庫 シルウォ 46:46.60
- 5 ジョナ アストリガ Team UKYO 46:53.11
- 6 平塚 吉光 静岡 愛三工業 47:02.21



A-U

- 1 中井 唯晶 滋賀 UKYO 20:26.79
- 2 武山 晃輔 山梨 日本大学 20:30.36
- 3 岡部 祐太 広島 日本体大 20:32.20
- 4 草場 啓吾 京都 日本大学 20:33.43
- 5 渡邊 雄太 長野 駒澤大学 20:34.26
- 6 小林 泰正 群馬 日本体大 20:34.29



A-M (39km)

- 1 半澤 雄高 東京 Link Tohoku 1:07:15.44
- 2 西谷 雅史 東京 オースト 1:07:37.58
- 3 加納 篤 栃木 サイクルゲーム 1:08:49.79
- 4 山下 博人 静岡 YOUCAN 1:09:13.00
- 5 岩波 信二 山梨 Yamanashi 1:09:14.20
- 6 小田 裕貴 東京 oreodacci 1:09:14.27



A-J (39km)

- 1 奥村 十夢 奈良 榛生昇陽 1:05:00.65
- 2 曾我部厚誠 大阪 京都産大 1:05:00.95
- 3 谷 和也 大阪 堺高校 1:05:06.44
- 4 尾形 尚彦 宮城 東北高校 1:05:29.32
- 5 三好憲士郎 奈良 榛生昇陽 1:05:32.09
- 6 鶴沼 利久 福島 白河実業 1:05:32.21



A-Y (29km)

- 1 津田 悠義 愛知 EQADS 49:18.68
- 2 山内 湊太 岐阜 DADDY 49:20.15
- 3 服部 泰之 静岡 伊豆総高 49:24.55
- 4 八代 隆靖 福島 学法石川 49:33.38
- 5 寺田 吉騎 静岡 vivace掛川 49:33.63
- 6 小野寺 慶 栃木 BlauBlitzen 49:38.31



A-F

- 1 齋藤 望 宮城 日本体大 16:57.66
- 2 細谷 夢菜 埼玉 浦和工高 17:00.33
- 3 福本 千佳 大阪 Toyo Frame 17:04.50
- 4 渡部 春雅 神奈川 17:10.88
- 5 酒井 美有 愛知 17:39.40
- 6 針谷千沙子 栃木 Live Garden 17:41.72



A-Fジュニア

- 1 細谷 夢菜 埼玉 浦和工高 17:00.33
- 2 渡部 春雅 神奈川 17:10.88
- 3 酒井 美有 愛知 17:39.40



B-1 (14km)

- 1 長田 華山 プラウプリツェン 24:44.65
- 2 篠原 輝利 Flecha 25:10.39
- 3 青島 冬弥 ボンジャンヌス 26:03.29
- 4 塩浦 駿汰 青梅七中 26:18.99
- 5 大谷 友哉 26:52.37
- 6 鈴木 来人 ボンジャンヌス 27:11.86



B-2 (24km)

- 1 及川 一総 岩手県 42:40.71
- 2 香山 飛龍 VIVA☆ZAPPEI 43:58.53
- 3 鴨下 拓弥 ミタエイパールズミ 44:40.54
- 4 栗原 昌宏 観明高校 44:41.45
- 5 清水 崇志 藤沢翔陵高校 44:41.48
- 6 古田 陸志 筑大附坂戸高校 44:45.63



B-3 (24km)

- 1 丹野沙音志 42:00.67
- 2 岸 亮太 Inoue Racing 42:00.68
- 3 高柴 直希 作新学院大学 42:06.20
- 4 宇根 智浩 トリエルブ 42:06.31
- 5 福代 直希 TEAM光 42:18.94
- 6 鈴木 禄徳 PAXPROJECT 42:20.83



B-4 (24km)

- 1 松木 匡宏 44:00.51
- 2 鈴木 克明 イクストリームつくば 44:12.11
- 3 福田 健太 Inoue Racing 44:13.81
- 4 宮崎 翔太 BFY Racing 44:13.92
- 5 水野 広大 K&K 44:20.27
- 6 秋葉 裕司 チーム光 44:42.57



B-5 (14km)

- 1 大原 満 24:42.09
- 2 井上 善裕 Inoue Racing 24:56.68
- 3 近江 邦夫 DREAMER 25:00.55
- 4 山形 昌士 club.viento 25:03.42
- 5 柴田 一朗 25:13.31
- 6 柳澤 朋弘 チームオースト 25:16.50



B-6 (14km)

- 1 奈良 正一 天狗党 24:43.42
- 2 小野 忠 ハイニルズ '90 24:49.29
- 3 江越 和也 TEAM VAPOR 25:50.00
- 4 増田 謙一 ハイニルズ '90 26:02.54
- 5 辻 博人 多摩ホータ 26:09.38
- 6 松本 謙 RaisinYamanashi 26:24.95



B-7 (14km)

- 1 横山 和夫 チームオーベスト 26:27.05
- 2 澤田 龍之 SPADE ACE 27:35.23
- 3 細山 正一 27:41.79
- 4 高橋 秀樹 FIETS GROEN 27:46.17
- 5 神子 島隆 28:02.15
- 6 近藤新一郎 なるしまフレンド 28:09.49



B-8 (14km)

- 1 福田 咲絵 フィツ 27:20.07
- 2 鈴木なつみ 学法石川高校 29:30.79
- 3 新川 明子 ブラウブリッセン 29:35.32
- 4 佐々木聖佳 岩手県 29:44.42
- 5 石上 夢乃 29:48.29
- 6 河鍋優美子 多摩ホータ 30:14.04



B-C1 (2km)

- 1 浅野 真央 Cycle DNA
- 2 紺野 祐玄
- 3 齋藤 令 BULLDOG.M.S.Jr.
- 4 村田百々子
- 5 藤本 琉生 Cycle DNA



B-C2 (3km)

- 1 秋元 碧 AKM
- 2 奥井 達也 ライフレシグクラブ
- 3 若林 蔵月 ミニ Ready Go JAPAN
- 4 村田 勝昭
- 5 水谷 悠平
- 6 小野寺 海 Team ONODERA



B-C3 (4km)

- 1 梅澤 幹太 愛媛車連ジュニアクラブ
- 2 篠島 瑠樹 サイクルオートサイ
- 3 浅野 涼太 Cycle DNA
- 4 立岩 藤吾 スミタイタールズミラハ
- 5 石上 琴乃
- 6 藤本 怜 CycleDNA



※A-F, A-U, A-E: 落車中断あり、タイム差を持って再スタート



日本新記録 Japan New Record

■スタンディングスタート
・4km

男子エリート 4'26"116 近谷 涼(富山・マトリックスパワータグ) 2016/4/16 静岡・伊豆ペドロローム

今後の大会予定

期 日	大会 名	種 目	場 所
5月29日 ~ 5日	ツアー・オブ・ジャパン	RR	大阪~東京
6月5日	全日本学生個人ロードTT自転車競技大会	RR	埼玉/利根川河川敷
6月11日 ~ 12日	全日本学生選手権個人ロードレース大会	RR	長野/奥木曾湖
6月16日 ~ 19日	ツール・ド・熊野	RR	和歌山/新宮他
6月24日	全日本選手権自転車競技大会-RR, TT, PARA	RR	東京/大島
6月29日 ~ 3日	UCI世界選手権大会-MTB CX	MTB	チェコ共和国/ノヴェームニェスト・ナ・モラヴィエ
7月2日 ~ 3日	全日本選手権自転車競技大会-BMX	BMX	大阪/堺
7月2日 ~ 3日	全日本学生選手権トラック競技大会	TR	長野/美鈴湖自転車競技場
7月8日 ~ 10日	ジャパントラックカップ・II	TR	静岡/伊豆ペドロローム
7月10日	第3回ニセコクラシック	UGFWS	北海道/倶知安町他
7月16日 ~ 17日	全日本選手権自転車競技大会-マウンテンバイク	MTB	長野/富士見パノラマ
7月16日 ~ 16日	JICFインターナショナルトラックカップ	TR	長野/美鈴湖自転車競技場
7月20日 ~ 24日	UCI世界選手権大会-ジュニア・トラック	TR	スイス/エーグル
7月28日 ~ 31日	全国高等学校総合体育大会自転車競技	TR	鳥取/倉吉
8月2日	全国高等学校総合体育大会自転車競技	RR	広島/中央森林公園
8月5日 ~ 21日	第31回オリンピック競技大会	RR/TR/MTB/BMX	ブラジル/リオデジャネイロ
8月20日 ~ 21日	JOCジュニアオリンピックカップ	TR	静岡/伊豆ペドロローム
8月21日	シマノ鈴鹿国際ロード	RR	鈴鹿サーキット
8月25日 ~ 28日	文部科学大臣杯第72回全日本大学対抗選手権自転車競技大会	TR/RR	静岡/日本サイクルスポーツセンター

第5回 全日本トライアル選手権大会

寺井(男子エリート20)が5連覇!



第5回全日本トライアル選手権大会が4月23日から24日まで、長野県佐久市佐久ミレニアムパークで開催されました。

今回は大会期間中にトライアル第2級公認審判員養成講習会が国内で初めて開催され、その講師としてUCIトライアル委員会の委員長であるPeter Fischさんが、スイスより初来日しました。昼間は大会の様子を視察していただき、夜は遅くまで審判講習会の講師を務めていただき、受講したスタッフにとっても本当に充実した大会であったと思います。

さて大会は46名の選手が出場し、エリートとジュニアのみ20インチと26インチのクラスに分かれ、その他は年齢・男女別のクラスで行われまし

た。男子エリートは1日目が予選で、上位4名が2日目の決勝ラウンドに進み、その他のカテゴリーは2日間のペナルティ・ポイント合計で順位が決まります。この大会では障害物のあるコース(セクション)が5つあり、足着きなどのペナルティー合計の少ない選手が勝者となります。

男子ジュニア20は泉澤仁が7pで昨年に続き優勝、男子ジュニア26も塩崎太夢が26pで昨年に続き優勝しました。女子エリートは小川菜花が15pで優勝、男子エリート26は昨年2位の西窪友海が11pで優勝しました。そして、男子エリート20ではこの大会4連覇中で、昨年の世界選手権5位の絶対王者ともいえる寺井一希が、練習中の落車で万全な状態ではないにもかかわらず

ず、他を寄せつけないペナルティ10pで優勝し、この大会を5連覇を達成しました。今年の世界選手権でも世界を見据える、寺井選手の活躍に期待したいと思います。

最後にトライアル競技の日本のレベルは、全体としてまだまだ足りないと思われる。しかし、この大会に参加した多くの子供達の走りを見れば今後まだ少ない国内での試合数が増えることで、多くの子供達が競技に取組める環境が整えば、寺井選手に続く世界に通用する選手も生まれてくるものと思います。(JCF広報委員長・坂井田米治)

【競技結果】

第5回 全日本トライアル選手権大会
(2016/4/23-24 長野・佐久平)

男子エリート20

- 1 寺井 一希 埼玉 チームハリケン 10.0p
- 2 橋本 茂樹 福岡 SUGOSUNE 26.0p
- 3 竹内 康剛 愛知 無所属 31.0p

男子エリート26

- 1 西窪 友海 東京 OZONYS 11.0p
- 2 白井 栄治 東京 法政大学 33.0p
- 3 森 海盛 熊本 ikkei bike works 40.0p

女子エリート

- 1 小川 菜花 長崎 無所属 15.0p
- 2 山本 琴恵 東京 GT Bicycle 19.0p

男子ジュニア20

- 1 泉澤 仁 群馬 無所属 7.0p
- 2 土屋 凌我 長野 無所属 10.0p
- 3 高橋 靖矢 埼玉 チームハリケン 12.0p

男子ジュニア26

- 1 塩崎 太夢 山梨 甲府工業高校 26.0p

カデット

- 1 安部 健太 埼玉 無所属 2.0p
- 2 横田雄一郎 石川 Green Cycle 6.0p
- 3 豊澤 剛 埼玉 チームハリケン 11.0p

ミニ

- 1 尾又 太一 東京 チームハリケン 12.0p
- 2 谷口 友希 三重 KDRT 15.0p
- 3 増田 誠政 静岡 Myroad Nakano20.0p

ベンツァミン

- 1 小椋 紘 岡山 無所属 0.0p
- 2 廣畑 伸哉 和歌山 無所属 9.0p
- 3 小林 虎鉄 東京 無所属 35.0p

フッソ

- 1 横田宏太郎 兵庫 ワンダー・エナジー 1.0p
- 2 中山 光太 栃木 無所属 13.0p
- 3 山下 虎威 熊本 ikkei bike works 22.0p

ガール

- 1 横田 華奈 兵庫 ワンダー・エナジー 2.0p
- 2 寺曾 芹奈 広島 Team Teraso 8.0p
- 3 平野 心結 京都 ワンダー・エナジー 16.0p

男子エリート26 優勝の西窪



女子エリート優勝の小川



男子ジュニア20 優勝の泉澤



男子ジュニア26 優勝の塩崎



第39回 全国高等学校選抜自転車競技大会

細谷夢菜が3冠!



優勝の細谷

女子ロードレース先頭集団

平成27年度全国高等学校選抜自転車競技大会が3月24日から27日の4日間、熊本県熊本市熊本競輪場(トラック競技)及び熊本県山鹿市菊鹿地区特設コース(ロード競技)で開催された。

初日、開会式に先だて行われた女子2km個人追抜予選、男子3km個人追抜予選の結果を受けて、翌日に順位決定戦が行われた。女子2km個人追抜は中村愛花(福井科技)が2分42秒729で優勝。2位は石井菜摘(作新学院)、3位は菅原朱音(倉吉総産)となった。男子3km個人追抜は、松本京太(静岡北)が3分36秒659で優勝。2位は梅本泰生(石田)、3位は村田祐樹(氷見)となった。

ポイントレースは、上位3名の得点の取り合いとなったが、相葉健太郎(九州学院)が逃げ切って優勝。2位は長松大祐(別府商・別府翔青)、3位は勝呂真至(伊豆総合)となった。

男子スクラッチは最終的に集団ゴールとなり、安彦統賀(川越工)が2年連続優勝を飾り、2位は柳田弘樹(南大隅)、3位は片野陸(鹿町工)となった。

女子スクラッチは最終周回に落車のトラブルがあったが、中村愛花(福井

科技)が2km個人追抜に続き優勝。2位は長石悠里(倉吉西)、3位は新井美菜(川越工)となった。

女子500mタイム・トライアルは、細谷夢菜(浦和工)が37秒930で2年連続優勝を飾り、2位は松本詩乃(昭和一学園)、3位は中本真弥(和歌北)となった。

男子1kmタイム・トライアルでも山田諒(岐阜第一)が、1分06秒677の大会新記録で2年連続優勝を飾り、2位は治田知也(吉田)、3位は石井洋輝(白河実業)となった。

男子ケイリンは今西力太(榛生昇陽)が力強い走りで優勝、2位は塩島嵩一郎(南大隅)、東矢圭吾(千原台)となった。

女子ケイリンは細谷夢菜(浦和工)が、予選から安定した競走をして500mTTに続き優勝を飾り、2位は松本詩乃(昭和一学園)、3位は藤田まりあ(浦和工)となった。

スプリントは予選1位から勝ち上がった梶原海斗(祐誠)が安定した競走で優勝。2位は甲斐俊祐(別府商・別府翔青)、3位は吉元大生(静岡北)となった。

大会最終日は熊本県山鹿市菊鹿地

区特設コースに会場を移し、個人ロードレースが行われた。途中、雨も降る不安定な天候ではあったが、無事にレースは男子77.7km(7周回)、女子33.3km(3周回)で実施された。男子は188名の出走で、レース前半は集団であったが5周目には30名ほどの先頭集団が形成され、6周目には17名、7周目には5名の先頭集団となり、最後はこの5名のスプリントとなって大町健斗(安芸府中)が優勝。終始積極的な走りをした地元の栗原悠(千原台)が2位、3位は花田聖誠(昭和一学園)となった。

女子は44名の出走となったが、レース序盤からペースが上がって先頭集団は6名となり、そのまま6名によるゴール勝負で、細谷夢菜(浦和工)が伸びて優勝、2位は地元の中富尚子(千原台)、3位は石井菜摘(作新学院)となった。

男子学校対抗総合は1位と2位が18点の同点となったが、上位入賞者数で岐阜第一が総合優勝を飾った。また、女子学校対抗総合は、3種目の優勝を果たした浦和工が総合優勝を飾った。(全国高体連自転車競技専門部理事長 坂井田米治)



男子スプリント優勝の梶原(左)
男子1km TT 優勝の山田



男子スクラッチ優勝の安彦(右)



男子ポイントレース優勝の相葉(先頭)
女子500m TT 優勝の細谷



女子2km IP 優勝の中村



女子スクラッチ優勝の中村



女子ケイリン決勝、左が優勝の細谷





男子3km IP 優勝の松本



男子ケイリン決勝、優勝は白キャップの今西



男子ロードレース優勝の大町

【競技結果】

第39回全国高等学校選抜自転車競技大会
(2016/3/24-27 熊本・熊本競輪場/山鹿)

男子スプリント

- 1 梶原 海斗 福岡 祐誠
- 2 甲斐 俊祐 大分 別府商・別府翔青
- 3 吉元 大生 静岡 静岡北

男子1kmタイムトライアル

- 1 山田 諒 岐阜 岐阜第一 1:06.677
- 2 治田 知也 新潟 吉田 1:07.859
- 3 石井 洋輝 福島 白河実業 1:09.253

男子ケイリン

- 1 今西 力太 奈良 榛生昇陽
- 2 塩島嵩一朗 鹿児島 南大隈
- 3 東矢 圭吾 熊本 千原台

男子3km個人ハーフシュート

- 1 松本 京太 静岡 静岡北 3:36.659
- 2 梅本 泰生 香川 石田 3:37.177
- 3 村田 祐樹 富山 氷見 3:42.134

男子スクラッチ(8km)

- 1 安彦 統賀 埼玉 川越工 10:16.562
- 2 柳田 弘樹 鹿児島 南大隈
- 3 片野 陸 長崎 鹿町工

男子ポイントレース(24km)

- 1 相葉健太郎 熊本 九州学院 20p
- 2 長松 大祐 大分 別府商・別府翔青 18p
- 3 勝呂 真至 静岡 伊豆総合 18p

男子ロードレース

- 1 大町 健斗 広島 安芸府中 2:06:12.6
- 2 栗原 悠 熊本 千原台 2:06:12.9
- 3 花田 聖誠 東京 昭和一学 2:06:13.1
- 4 奥村 十夢 奈良 榛生昇陽 2:06:13.9
- 5 亀谷 昌慈 岐阜 岐阜第一 2:06:18.4
- 6 尾形 尚彦 宮城 東北 2:06:35.9

女子500mタイムトライアル

- 1 細谷 夢菜 埼玉 浦和工 37.930
- 2 松本 詩乃 東京 昭和一学園 39.259
- 3 中本 真弥 和歌山 和歌北 39.340

女子ケイリン

- 1 細谷 夢菜 埼玉 浦和工
- 2 松本 詩乃 東京 昭和一学園
- 3 藤田まりあ 埼玉 浦和工

女子2km個人ハーフシュート

- 1 中村 愛花 福井 福井科技 2:42.729
- 2 石井 菜摘 栃木 作新学院 2:50.653
- 3 菅原 朱音 鳥取 倉吉総産 2:45.284

女子スクラッチ(6km)

- 1 中村 愛花 福井 福井科技 8:49.175
- 2 長石 悠里 鳥取 倉吉西
- 3 新井 美菜 埼玉 川越工

女子ロードレース

- 1 細谷 夢菜 埼玉 浦和工 1:03:15.6
- 2 中冨 尚子 熊本 千原台 1:03:16.0
- 3 石井 菜摘 栃木 作新学院 1:03:17.5
- 4 長石 悠里 鳥取 倉吉西 1:03:18.1
- 5 菅原 朱音 鳥取 倉吉総産 1:03:20.8
- 6 山口 伊吹 長崎 鹿町工 1:03:21.1

男子総合成績

- 1 岐阜第一 18p
- 2 南大隈 18p
- 3 静岡北 16p

女子総合成績

- 1 浦和工 38p
- 2 福井科技 18p
- 3 作新学院 18p



全日本トライアルチャンピオン



< JCF オフィシャル・スポンサー >



< オフィシャル・サプライヤー >



シクリスムエコー No.218 2016年4・5月号

発行/公益財団法人 日本自転車競技連盟

発行人/橋本 聖子

編集人/坂井田 米治

編集事務局/公益財団法人 日本自転車競技連盟 事務局

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1 自転車総合ビル 5F

TEL 03-6277-2690 FAX 03-6277-2691 <http://www.jcf.or.jp/>

KEIRIN



この資料および∞の表示がある事業は、JKAから競輪収益の一部である公益事業資金の補助を受けたものです。

© (公財) 日本自転車競技連盟 2016 本紙掲載の写真、イラスト、ロゴマーク、ロゴタイプおよび記事の無断転載を禁じます。

※本誌「シクリスムエコー」定期購読をご希望の方は編集事務局までお問合せください。

＝シクリスムエコー読者のみなさまへ＝ 本誌への寄稿またはご意見、ご感想等を編集事務局までお寄せください。